



PORTATONE

PSR-E223

演奏の準備

クイックガイド

リファレンス

資料

取扱説明書



本書の使い方

ご使用前に2～4ページの「安全上のご注意」をよくお読みください。

「演奏の準備」を読み電源を入れたら、「クイックガイド」で基本的な操作を試してみましょう。「リファレンス」にはより詳細な設定や、いろいろな機能が紹介されています。本書を読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

データリスト

「MIDIデータフォーマット」や「MIDIインプリメンテーションチャート」などMIDIに関する資料が、ヤマハマニュアルライブラリーからダウンロードできます。

インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名「PSR-E223」を入力して「検索」ボタンを押します。

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの（PA-3C またはヤマハ推奨の同等品）を使用する。
（異なった電源アダプターを使用すると）故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

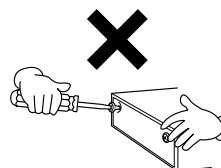
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

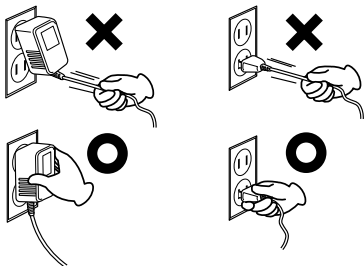
⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



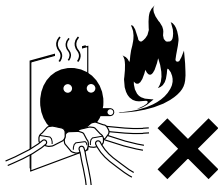
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



乾電池



必ず実行

乾電池はすべて+ / -の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。



禁止

乾電池を分解したり、火の中に入れたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



禁止

乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。

設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

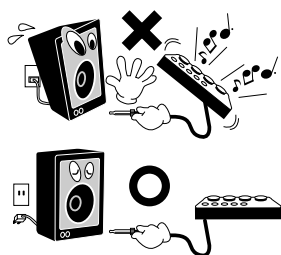
接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学薬品などは使用しない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

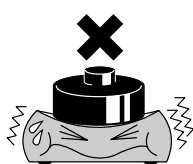
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「電源切」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、楽しい生活環境を守りましょう。

- ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ロゴ



GMシステムレベル1

「GM システムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。



XGライト

「XGlite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



ステレオサンプリングピアノ

最新のAWM(Advanced Wave Memory)技術を使ってサンプリングしたグランドピアノの音色を内蔵、リアルで重厚な響きを表現しました。



Yamaha Education Suite 5

内蔵ソングの弾き方をマスターできるレッスン機能です。片手からレッスンできて、レッスン方法は3段階から選べます。弾く前にお手本のメロディーを聞くこともできます。

付属品(お確かめください)

PSR-E223には、以下のものが付属しています。ご確認ください。

- ・ 取扱説明書(本書)
 - ・ ソングブック
 - ・ 保証書
 - ・ 電源アダプター PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品
 - ・ 譜面立て
 - ・ ユーザー登録のご案内
- * ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。



こんなことができます

演奏を楽しむ

鍵盤の音を変える

▶ 12ページ、13ページ

鍵盤を弾いたときに鳴る音を、バイオリン、フルート、ハープなど、さまざまな楽器の音に変えられます。ピアノ曲を弾くときには、ワンタッチでグランドピアノの音に変えられます。

音に効果をつける

▶ 32ページ

リバーブ(残響効果)をつけて、コンサートで演奏するような臨場感が得られます。

伴奏に合わせて演奏する

▶ 18ページ

100種類の自動伴奏(スタイル)で、演奏を華やかにできます。ワルツや8ビートなど、さまざまなジャンルのリズムに合わせて演奏できます。

練習する

内蔵曲を練習する

▶ 28ページ

レッスン機能を使って、内蔵曲を弾く練習ができます。片手ずつ練習したり、自分の弾くテンポに合わせてたりできます。

聞いて楽しむ

曲を聞く

▶ 16ページ

さまざまなジャンルの曲(ソング)が102曲入っています。聞いてみましょう。

もくじ

ロゴ	5
付属品(お確かめください)	5

演奏の準備

演奏の準備	8
電源の準備	8
ヘッドフォン/外部スピーカーを使う	9
フットスイッチを使う	9
電源を入れる	9
譜面立ての取り付け方	9

各部の名称	10
フロントパネル	10
リアパネル	10

クイックガイド

鍵盤の音を変えて弾いてみよう	12
鍵盤の音をいろいろな楽器音に変える	12
グランドピアノの音で弾く	13
メトロノームを使う	14
打楽器音(ドラムキット)を鳴らす	15
おもしろい音を鳴らす	15

ソングを鳴らしてみよう	16
好きなソングを1曲選んで聞く	16

スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう	18
スタイルに合わせて弾く	19
テンポを変える	22
スタイルのパターンに変化を付ける	23
楽譜を見ながらコードを弾く	24

リファレンス

基本操作と画面の見方	26
基本操作	26
画面の表示	27

ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)	28
レッスン1(お手本を聞く)	28
レッスン2(タイミング)	30
レッスン3(マイペース)	31

楽器音に関する設定 32

リバーブ(残響効果)をつける	32
コーラスをつける	32
パネルサステイン(余韻)をつける	33
手弾き音の音量を変える	33
音の高さを変える(トランスポーズ)	34
音の高さを微調整する(チューニング)	34
音の高さを変える(オクターブ)	35
楽器音を自動的に選ぶ (ワンタッチセッティング)	35
メトロノームの拍子を設定する	36
メトロノームの音量を設定する	36

ソングを鳴らすときの機能 37

テンポを変える	37
ミュート(消音)	37
くり返し練習しよう	38
ソング音量	38
自分でカウントをとってスタート	39
ソングのメロディー音色を変更する	39

スタイル再生に関する機能 40

スタイルのいろいろなスタート方法	40
スタイル音量の設定	40
スプリットポイントの変更	41
コード辞書でコードを調べる	41

機能設定 43

項目を選んで値を変える	43
-------------------	----

MIDI機器の接続 45

MIDIって何?	45
演奏情報を送受信する	45

資料

困ったときは	47
楽器リスト	48
最大同時発音数について	48
ドラムキットリスト	52
スタイルリスト	54
ソングリスト	55
エフェクトタイプリスト	56
仕様一覧	57
索引	58
保証とアフターサービス	59

演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

この楽器は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

■家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① 本体の電源が切れている(五線譜と調号以外、画面になにも表示されていない)ことを確認してください。

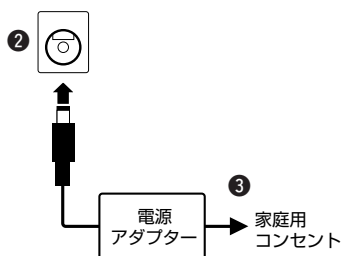
⚠ 警告

・電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプター PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- ② アダプターのDCプラグをリアパネルの電源アダプター端子にさし込みます。
- ③ アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

⚠ 注意

・長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。

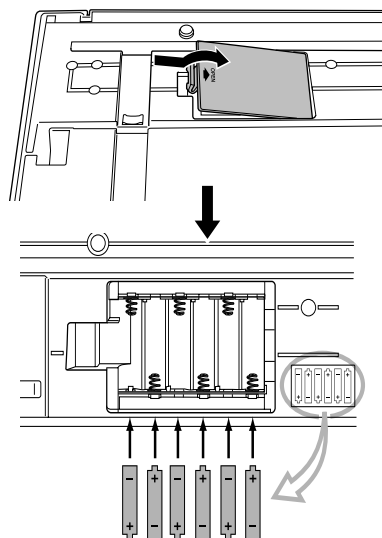


■乾電池を使うときは

- ① 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはします。
- ② 市販の乾電池(単3乾電池)を6本入れます。乾電池はアルカリ電池をおすすめします。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池ブタを閉めます。

⚠ 注意

・乾電池が入っていて電源がオンのときは、電源アダプターを抜き差ししないでください。電源が切れます。



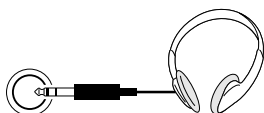
乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり画面の表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

⚠ 注意

- ・乾電池はアルカリ電池をおすすめします。それ以外の電池(充電式を含む)を使用した場合、電池の残量が急激に減ることがあります。
- ・乾電池はすべて+/−の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ・乾電池は一度に全部を交換してください。
- ・長時間使用しない場合や、乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- ・乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

以下の接続は必要に応じて、電源を入れる前に行ないます。

ヘッドホン/外部スピーカーを使う



別売りのヘッドフォンをヘッドホン/外部出力端子に接続します。

ヘッドホン/外部出力端子は外部出力端子にもなります。

ヘッドホン/外部出力端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-E223の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

ヘッドホンや外部スピーカーを接続すると自動的にPSR-E223のスピーカーから音が出なくなります。

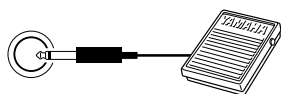
⚠ 注意

- ・PSR-E223を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

⚠ 注意

- ・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

フットスイッチを使う



別売りのフットスイッチ(FC5またはFC4)をこの**サステイン**端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフができます。

NOTE

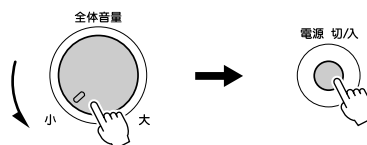
- ・フットスイッチを使用するときは、サステイン端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

電源を入れる

[全体音量]コントロールを左に回し、音量を最小にしておいてから、[電源 切/入]スイッチを押して電源を入れます。

そのあと鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に音量を上げてください。

もう一度[電源 切/入]スイッチを押すと電源が切れます。

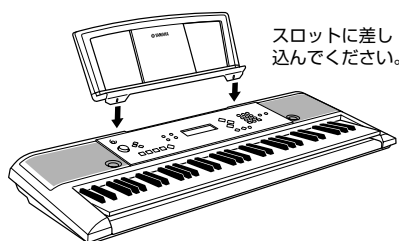


この楽器では電源を切ると、パネル設定などのすべての設定が初期値に戻ります。

⚠ 注意

- ・[電源 切/入]スイッチが切れている状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

譜面立ての取り付け方



スロットに差し込んでください。

各部の名称

■フロントパネル

- ① [電源 切/入]スイッチ9ページ
- ② [全体音量] コントロール9ページ
- ③ [1 お手本] ボタン29ページ
- ④ [2 タイミング] ボタン30ページ
- ⑤ [3 マイペース] ボタン31ページ
- ⑥ レッスン パート
 - [左手] ボタン29ページ
 - [右手] ボタン29ページ
- ⑦ [メトロノーム] ボタン14, 36ページ
- ⑧ [テンポ/タップ] ボタン22, 37, 39, 40ページ
- ⑨ [ソング] ボタン16, 26ページ
- ⑩ [楽器] ボタン12, 26ページ
- ⑪ [スタイル] ボタン19, 26ページ
- ⑫ 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]26ページ
- ⑬ [機能] ボタン43ページ
- ⑭ [デモ] ボタン17ページ

ソングのとき

- ⑮ [くり返し練習] ボタン38ページ
- ⑯ [巻戻し] ボタン17ページ
- ⑰ [早送り] ボタン17ページ
- ⑱ [一時停止] ボタン17ページ

スタイルのとき

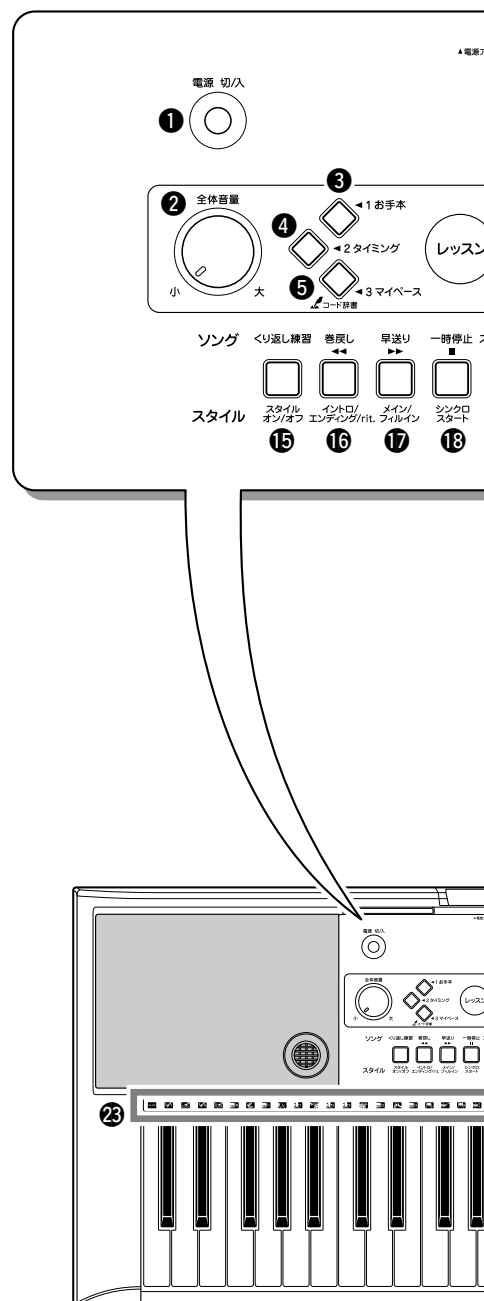
- ⑮ [スタイル オン/オフ] ボタン20ページ
- ⑯ [イントロ/エンディング/rit.] ボタン23ページ
- ⑰ [メイン/フィルイン] ボタン23ページ
- ⑱ [シンクロスタート] ボタン19, 40ページ

- ⑲ [スタート/ストップ] ボタン17ページ
- ⑳ [グランドピアノ] ボタン13ページ
- ㉑ [効果音] ボタン15ページ
- ㉒ [リバーブ] ボタン32ページ
- ㉓ ドラムキット15ページ

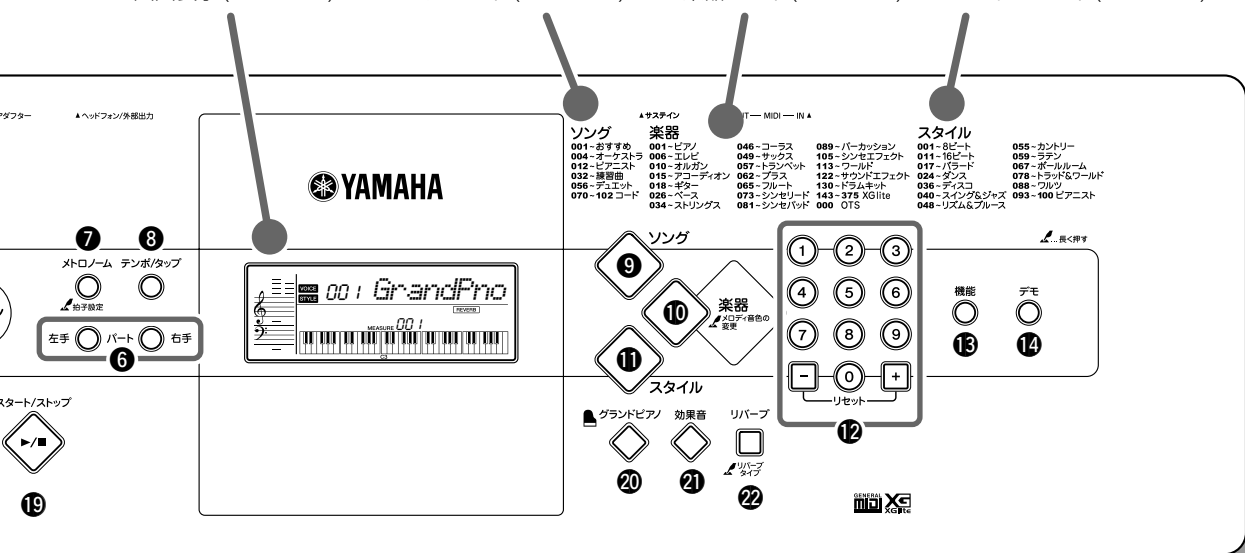
■リアパネル

- ㉔ MIDI IN/OUT 端子45ページ
- ㉕ サステイン端子9ページ
- ㉖ ヘッドフォン/外部出力端子9ページ
- ㉗ 電源アダプター端子8ページ

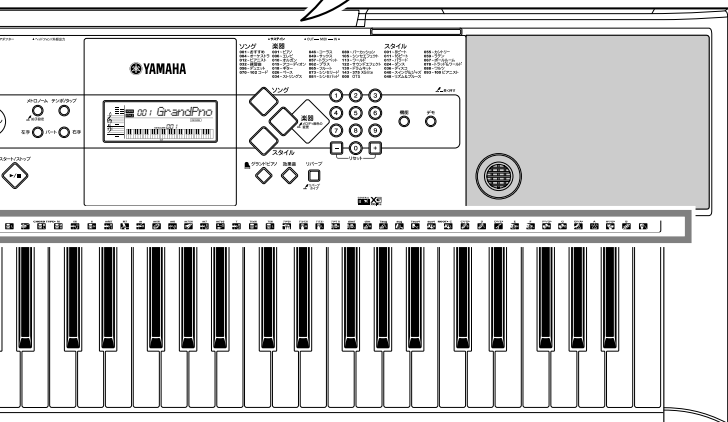
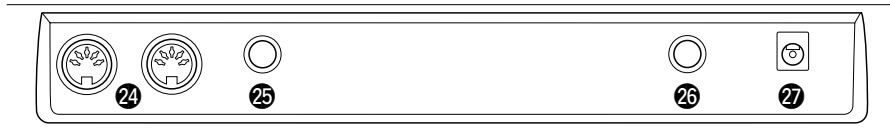
■フロントパネル



画面表示(27ページ) ソングリスト(55ページ) 楽器リスト(48ページ) スタイルリスト(54ページ)

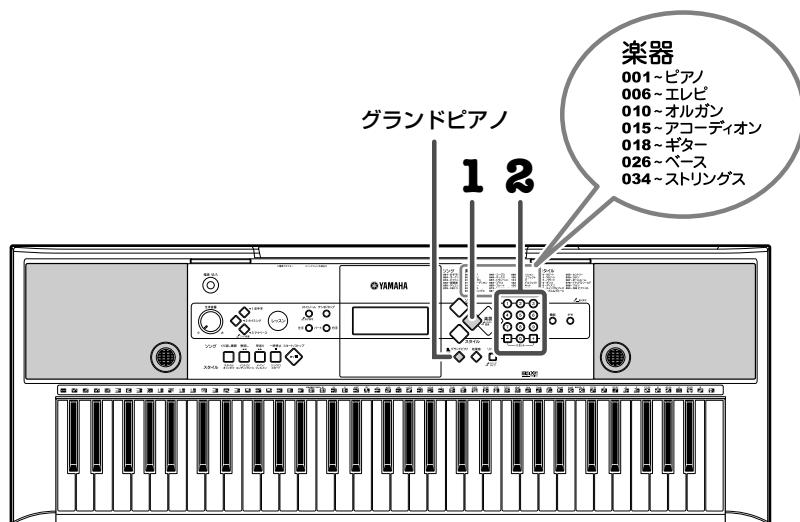


■リアパネル(背面)



鍵盤の音を変えて弾いてみよう

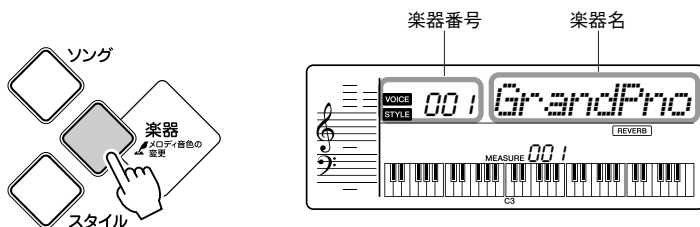
この楽器にはさまざまな楽器の音が入蔵されています。電源を入れた直後は、鍵盤を弾くとグランドピアノの音が出ますが、ギターやドラムなどの音にも変えられます。



鍵盤の音をいろいろな楽器音に変える

1 [楽器] ボタンを押します

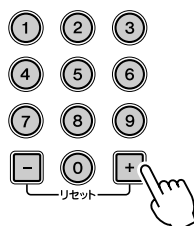
画面に楽器音の番号と名前が表示されます。



2 好きな楽器音を選びます

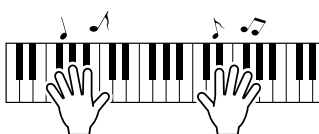
数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、好きな楽器音の番号を選びます。

楽器音と番号は48ページの楽器リストにのっています。



ここに表示された楽器名が
鍵盤の音になります

3 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろ音を変えて楽しみましょう。

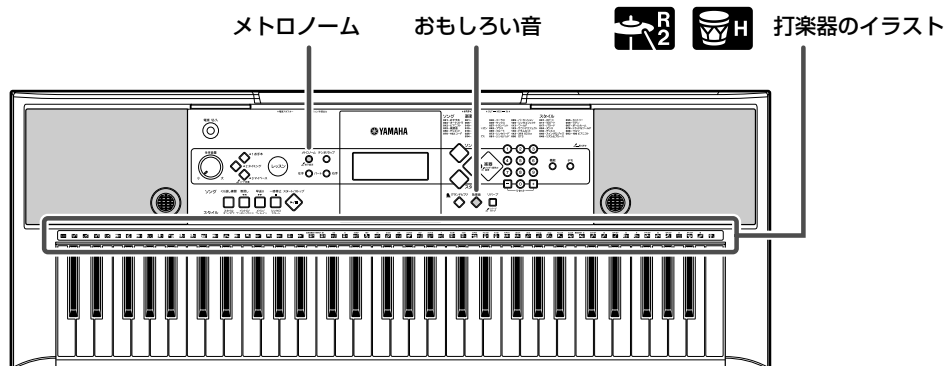
グランドピアノの音で弾く

「とにかくピアノの音で弾きたい」というときに便利なボタンです。

[グランドピアノ]ボタンを押します

すべての鍵盤の音が楽器番号001のグランドピアノ1になります。





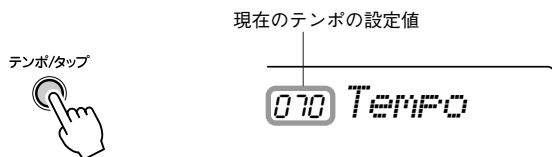
メトロノームを使う

この楽器にはメトロノームがセットされています。ピアノ曲を練習するときなどに使いましょう。

【メトロノーム】ボタンを押すとカチカチと鳴ります。もう一度ボタンを押すと止まります。



メトロノームの速さを調節したいときは、【テンポ/タップ】ボタンを押すと画面にテンポが表示されますので、速くしたいときは【+】、遅くしたいときは【-】を好きなだけ押して設定します。数字ボタンを押して直接テンポを入力することもできます。

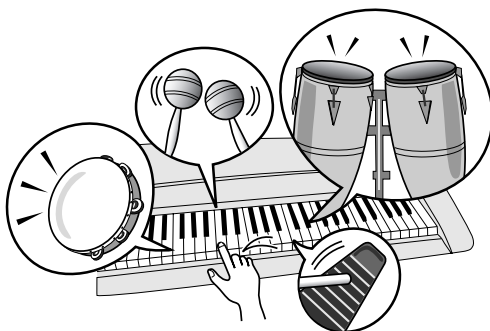


1 拍目にチーンと鳴らすこともできます。(36ページ)

打楽器音(ドラムキット)を鳴らす

13ページの手順2で楽器番号130を選ぶと、各鍵盤を押したときにそれぞれ異なった打楽器の音が鳴ります。

パネルに印刷してある打楽器のイラストは、楽器番号130を選んだとき、各鍵盤に割り当てられる打楽器です。ドラムキットとはさまざまな打楽器の集合体で、ほかにもいろいろなキットがあります(楽器番号130～142)。各キットの具体的な内容については、52ページのドラムキットリストをご参照ください。



おもしろい音を鳴らす

犬や猫の鳴き声、馬のいななき、気合の入った掛け声など、さまざまな効果音が鳴ります。

[効果音] ボタンを押します



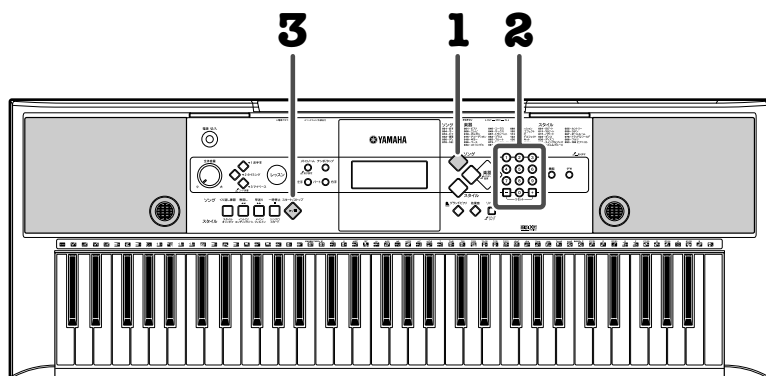
黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみましょう。

遊び終わったら、[グランドピアノ]ボタンを押して、鍵盤の音をグランドピアノの音に戻しておきましょう。

ソングを鳴らしてみよう

この楽器にはソングが102曲入っています。ソングとは通常「歌」を意味しますが、この楽器では曲データを指します。

鳴らして聞いてみましょう。

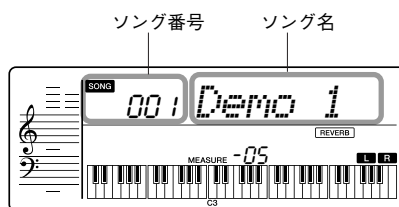


好きなソングを1曲選んで聞く

1

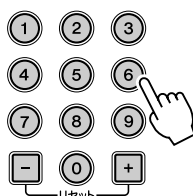
【ソング】ボタンを押します

画面にソング名とソング番号が表示されます。



2 鳴らしたいソングの番号を選びます

数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、ソング番号を選びます。ソングは55ページのソングリストにのっています。



3 [スタート/ストップ]ボタンを押します

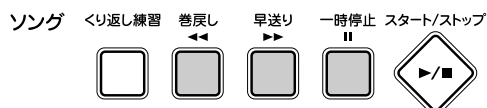
ソングがスタートします。

ソングをストップさせたいときは、もう一度[スタート/ストップ]ボタンを押します。



ソングの再生テンポは変更できます。(37ページ)

●早送り/巻き戻し/一時停止



[巻き戻し]ボタン.....再生中に押すとソングを巻き戻します。停止中に押すと小節番号が減少します。巻き戻し中は、ソングは再生されません。

[早送り]ボタン.....再生中に押すとソングを早送りします。停止中に押すと小節番号が増加します。

[一時停止]ボタン.....ソングを一時停止します。もう一度押すと一時停止した位置から再生がスタートします。

●デモ曲再生

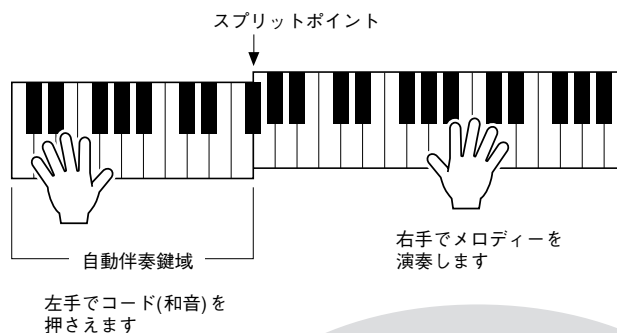
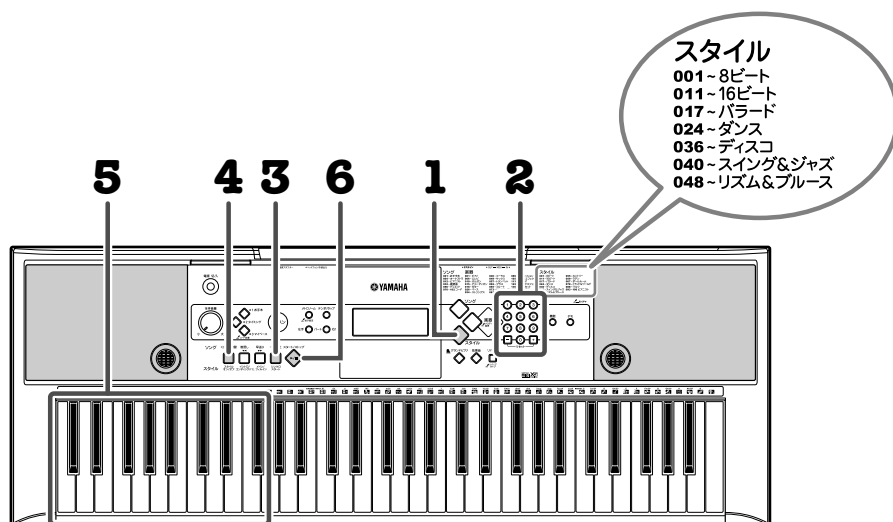
[デモ]ボタンを押すと、ソング番号001、002、003、059、072、004、024、043が順番に演奏され、最後のソングが再生し終わると、また最初のソングに戻ってくり返し再生されます。ストップさせたいときはもう一度ボタンを押します。



スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう

スタイルとは、リズムを含んだ伴奏です。

この楽器はロックやブルース、ユーロトランスなど、さまざまなリズムの伴奏を鳴らすことができます。スタイルの選び方、鳴らし方を覚えたら、実際に21ページのコードを弾いて、スタイルを使ってみましょう。イントロやエンディングを入れて、演奏にメリハリをつけることもできます。



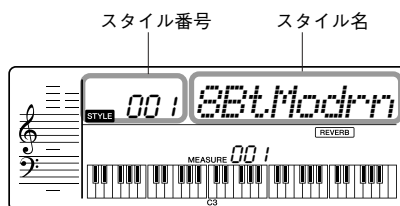
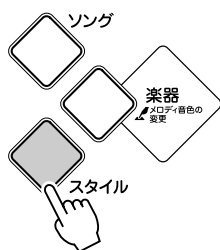
演奏する前に

12ページの「鍵盤の音をいろいろな楽器音に変える」の手順2を参照して、右手(メロディー)の楽器音にストリングス1を選びます。

スタイルに合わせて弾く

1 [スタイル] ボタンを押します

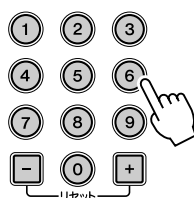
画面にスタイルの番号と名前が表示されます。



2 スタイルを選びます

数字ボタン[0]~[9]や、[+]、[-]を押して、好きなスタイルを選びます。

スタイルは、スタイルリスト(54ページ)にあります。



018 LoveSong



・093~100の「ピアニスト」カテゴリーのスタイルはリズムパートがないためリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオン(20ページ)にした状態で[スタート/ストップ]ボタンを押し、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

3 [シンクロスタート] ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします



シンクロスタート
待機状態

4 スタイル(伴奏)をオンにします

[スタイル オン/オフ]ボタンを押します。
もう一度ボタンを押すとスタイルはオフになります。



ACMP ON

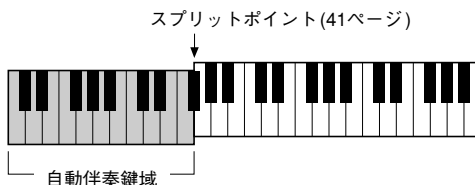
スタイルがオンのとき
表示されます



- ・スタイルがオフのまま[スタート/ストップ]ボタンを押すと、リズムだけスタートします。

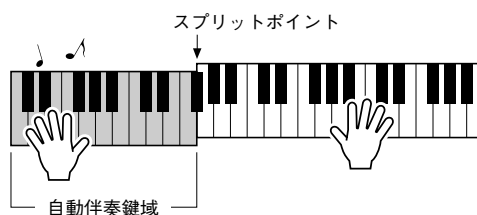
●スタイルがオンになると…？

スプリットポイントより左側の鍵盤が、和音(コード)だけを鳴らす特殊な状態になります。これを自動伴奏鍵域といいます。



5 演奏をはじめましょう

自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートしますので、練習曲「オーラ・リー」を弾いてみましょう。



6 演奏を終わります

[スタート/ストップ]ボタンを押すとスタイルがストップします。

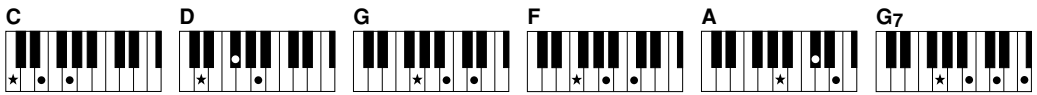
スタート/ストップ



～練習曲～
オーラ・リー

おすすめスタイル：018 ラブソング
おすすめ楽器音：034 スtrings1

作曲者名：G. Poulton



♩ = 70

左手 右手

C D G C

ソ ド シ ド レ ラ レ ド シ ラ シ ド

左手 右手

C D G C

ソ ド シ ド レ ラ レ ド シ ラ シ ド

左手 右手

C F C

ミ ミ ミ ミ ミ ミ ミ レ ド レ ミ

左手 右手

A D G7 C

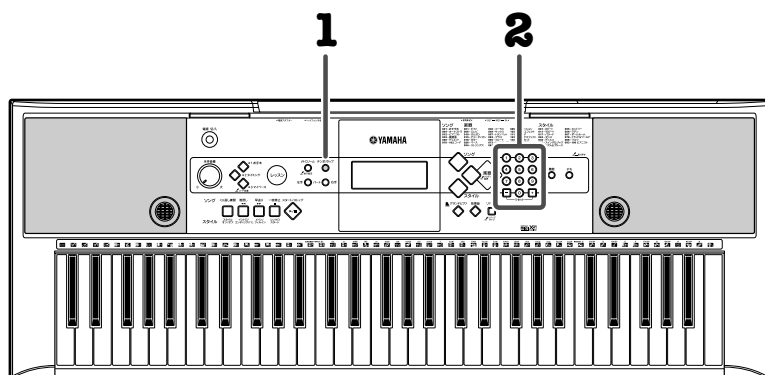
ミ ミ ファ ミ レ ラ レ ド シ ラ シ ド

このページの音名は、すべて「固定ド」で表示しています。

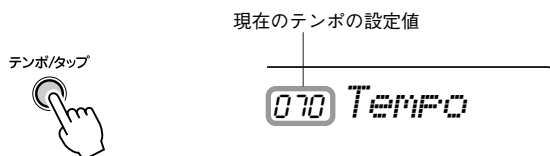
スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう

テンポを変える

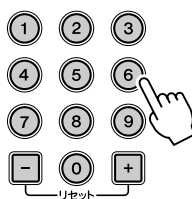
スタイルを、速いテンポやゆっくりしたテンポで鳴らすことができます。



1 [テンポ/タップ]ボタンを押して、画面にテンポを表示させます



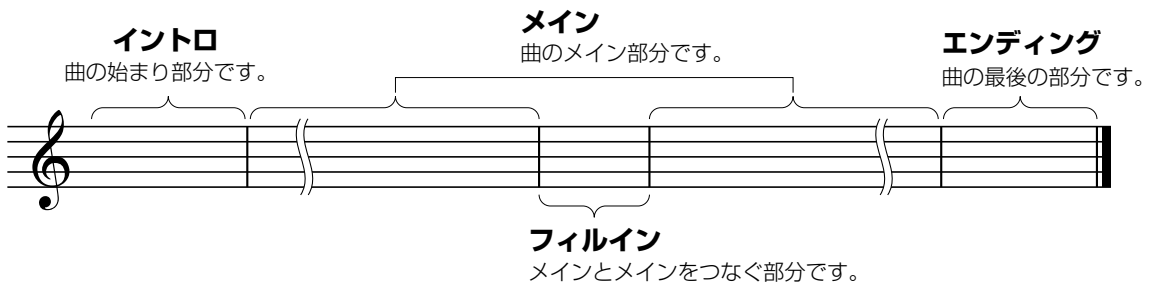
2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、テンポを設定します



・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、そのスタイル本来のテンポに戻ります。

スタイルのパターンに変化を付ける

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にも下記のバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。



イントロを入れる

スタイルを鳴らす前に[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押しておくと、スタイルが鳴ると同時にイントロが入ります。数小節演奏されたあと、自動的にメインに移ります。

メインを切り替える

メインにはAとBの2パターンがあり、[メイン/フィルイン]ボタンを押すたびに切り替わります。他のセクションボタンを押すまで、メインをくり返し演奏します。

フィルインを入れる

メイン切り替わりの際、フィルインが自動的に挿入されます。



エンディングを入れる

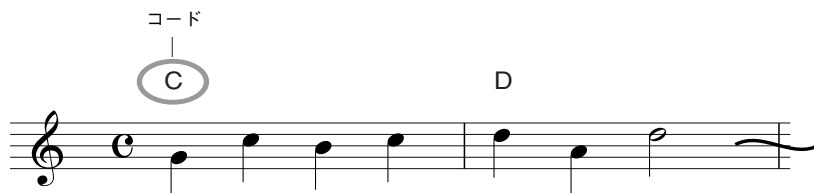
[イントロ/エンディング/rit.] ボタンを押すとエンディングが入って、スタイルがストップします。



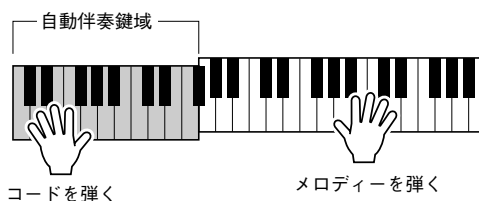
エンディング再生中に[イントロ/エンディング/rit.] ボタンを押すと、演奏にリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、演奏がストップします。

楽譜を見ながらコードを弾く

一般的に、楽譜ではコードは下記のように表記されます。

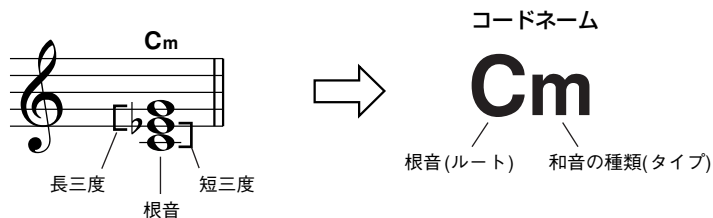


このような楽譜では、右手で五線譜のメロディーを弾き、左手でコードを弾きます。楽譜でこのようなコード表記を見つけたら、次ページのコード表から同じものを探して、イラストどおりに鍵盤を押さえます。



●コードネームの見方

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームの仕組みがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



和音の一番下の音を根音(ルート)と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。コードネームでは左端の大文字のアルファベット(♯や♭を含む場合があります)がルートを表します。コードネームはルートと、メジャーやマイナーなど和音の種類によって決まります。

コード表

ここでは、初めてコードを弾く方のために、よく使われるコードをご紹介します。

このほかにもたくさんのコードがありますので、もっと詳しく知りたい場合は、市販のコード表などを参照ください。

★がルート(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
C 	Cm 	C7 	Cm7 	CM7
D 	Dm 	D7 	Dm7 	DM7
E 	Em 	E7 	Em7 	EM7
F 	Fm 	F7 	Fm7 	FM7
G 	Gm 	G7 	Gm7 	GM7
A 	Am 	A7 	Am7 	AM7
B 	Bm 	B7 	Bm7 	BM7

- ・コード押鍵はその転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7♭5、6、m6、sus4、aug、dim7、7♭5、6(9)、sus2
- ・7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- ・sus2はルートのみ画面表示されます。

●簡単なコードの押さえ方

鍵盤を1～3個押さえて、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを指定することもできます。

《Cの例》



- ・メジャー (M)
ルートキー (根音：★)
を押さえてください。



- ・マイナー (m)
ルートキーと、ルートキー
に一番近い左側の黒鍵を同
時に押さえてください。



- ・セブンス (7)
ルートキーと、ルートキー
に一番近い左側の白鍵を同
時に押さえてください。

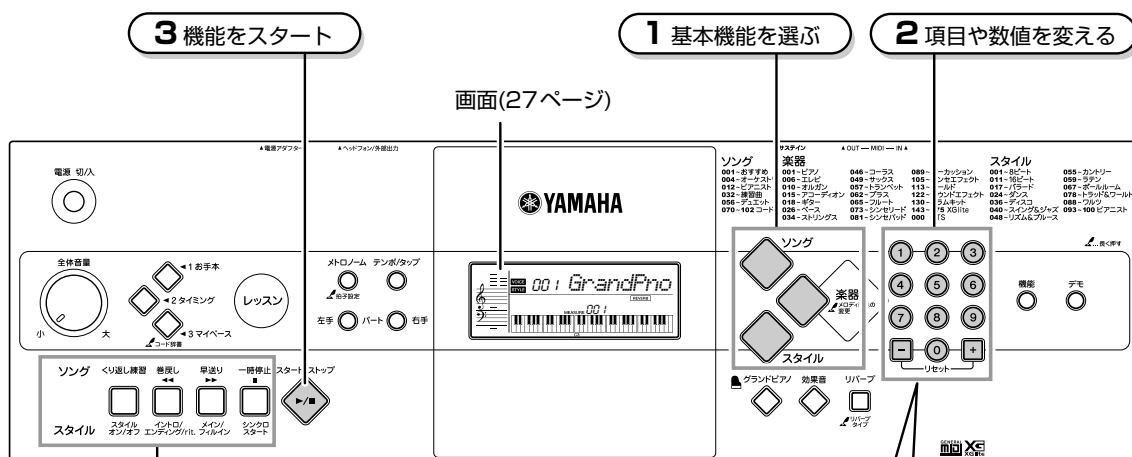


- ・マイナーセブンス (m7)
ルートキーと、ルートキーに
一番近い左側の黒鍵と白鍵を
同時に押さえてください。

基本操作と画面の見方

基本操作

この楽器の基本機能はソング、楽器 (ボイス)、スタイルの3つです。

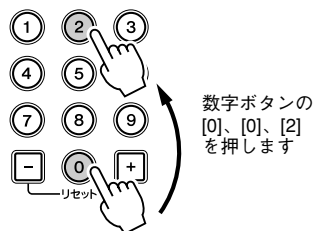


1で選んだ基本機能がソングのときはボタンの上、スタイルのときはボタンの下に印刷された機能が使えます。

●数字ボタン [0] ~ [9]

楽器音などの番号や項目の設定値を、直接数値で入力できます。

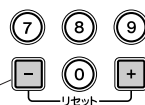
例)「002 グランドピアノ2」を選ぶ場合



数字ボタンの
[0]、[0]、[2]
を押します

●[+]、[-]ボタン

[+]ボタンを1回押すと、ひとつ大きな番号に、[-]ボタンを1回押すと、ひとつ小さな番号になります。
押し続けると連続して変わります。



1回押すとひとつ
小さな番号に

1回押すとひとつ
大きな番号に

●ボタンを「長く押す」マークについて

このマークの付いたボタンを1秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。



画面の表示

画面には、ソング、スタイル、楽器音など、基本的な設定状態が表示されます。

また、どの機能がオンになっているのかがアイコンなどで表示されますので、操作は画面を見ながら行なってください。

音符表示

通常は押した鍵盤の譜面上の位置を表示します。レッスン機能のときはソングのメロディーやコードを表示します。コード辞書機能のときはコードの構成音を表示します。



- ・1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

ソング(SONG)、楽器(VOICE)、スタイル(STYLE)表示

[ソング]、[楽器]、[スタイル] ボタンを押すと表示されます。



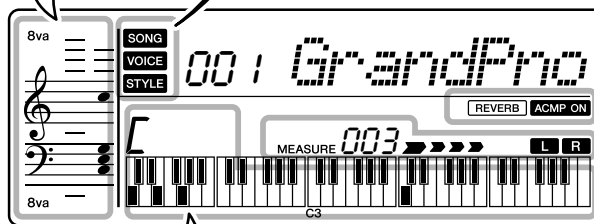
リバーブオン/オフ(REVERB)表示

リバーブがオンのとき表示されます。(32ページ)



スタイルオン/オフ(ACMP ON)表示

スタイル(自動伴奏)がオンのとき表示されます。(20ページ)



コード表示

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などが表示されます。



鍵盤表示

押した鍵盤の位置が表示されます。レッスン機能のときはソングのメロディーやコードを表示します。自動伴奏機能とコード辞書機能使用時には、コードの構成音が表示されます。



ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報を表示します。(37ページ)



R 点灯：データがあります。

R 消灯：データがないか、消音されています。

小節(MEASURE)表示

ソングの小節番号が表示されます。



ビート表示

スタイルやソングのビート(拍)を矢印で点滅表示します。

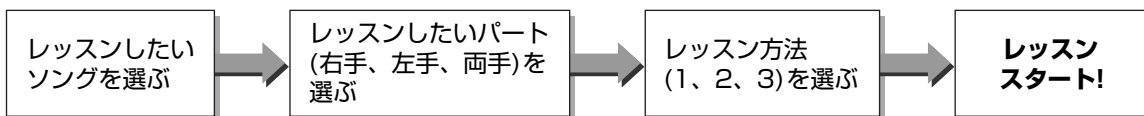


ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

Yamaha Education Suite 5

好きなソングを選んで、右手、左手、両手別にレッスンできます。
レッスン方法は3段階です。

■ レッスンの流れ



■ レッスン方法

- レッスン1 (お手本を聞く)お手本を聞いてメロディーやリズムを覚えます
- レッスン2 (タイミング)ソングに合わせてタイミングよくメロディーやコード(和音)を弾きます
- レッスン3 (マイペース)正しい音符を弾きます

レッスン1 (お手本を聞く)

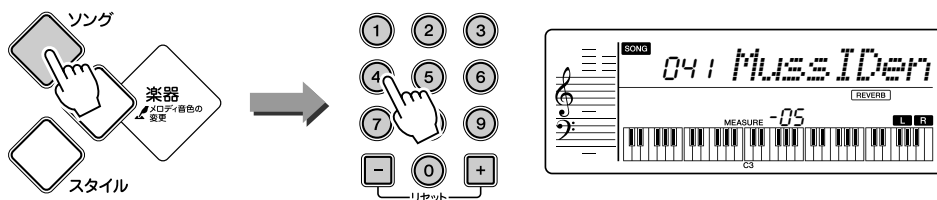
レッスン1は鍵盤を弾く必要はありません。
選んだパートのお手本メロディーが鳴るので、よく聞いて覚えます。

1 レッスンしたいソングを選びます

[ソング] ボタンを押し、数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、55ページのソングリストからソングを選びます。

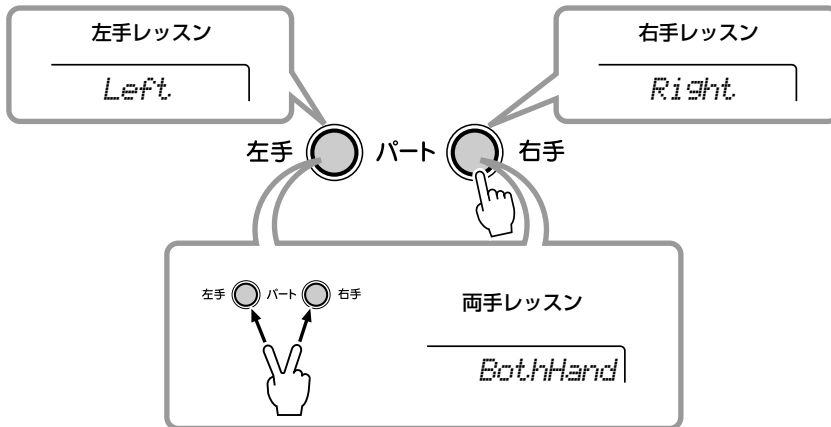


- レッスン1がスタートする前にソングが鳴っていると、パートを選べません。ソングが鳴っている場合は、ソングをストップさせてから手順2へすすみます。



2 レッスンしたいパートを選びます

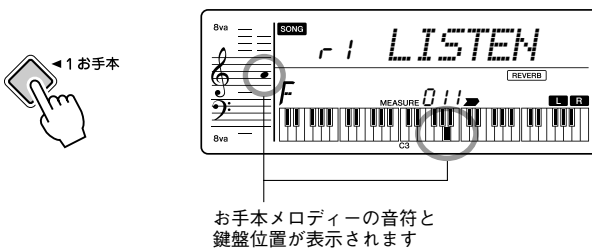
右手のレッスンをしたいときは[右手]ボタン、左手のレッスンをしたいときは[左手]ボタンを押します。両手のレッスンをしたいときは[右手]ボタンと[左手]ボタンを同時に押します。
画面には選んだパートが表示されます。



ソング001 (Demo 1)の左手パートを選んだときは、画面に「No LPart」と表示されます。このソングは左手のデータがないため、左手および両手レッスンはできません。

3 レッスン1をはじめましょう

[1 お手本]ボタンを押すと、レッスン1がスタートします。
手順2で選んだパートのメロディーやコード音がお手本として鳴りますので、よく聞いて覚えましょう。



NOTE

- ・レッスン1がスタートしたあとは、ソングが鳴っていてもパートを選べます。
- ・ソングのメロディー音色を変えた場合、音色によっては画面に表示される鍵盤位置がオクターブ単位でずれることがあります。
- ・レッスン中でも、[1 お手本]ボタン、[2 タイミング]ボタン、[3 マイペース]ボタンを押してレッスン1、2、3を切り替えられます。

4 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。

レッスン2(タイミング)

鍵盤を弾くタイミングをレッスンしましょう。

選んだパートのリズムに合わせて、メロディーやコード(和音)を弾きます。

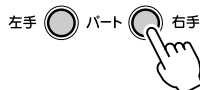
タイミングさえ合っていれば、弾く鍵盤を間違えても正しいメロディー音やコード音が鳴ります。



- ・スプリットポイントは、左手レッスンの場合「59(B2)」、左手コードレッスンの場合は「54(F#2)」に固定され、変更できません。

1 レッスンしたいソングを選びます

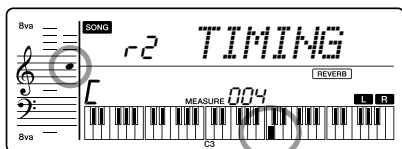
2 レッスンしたいパートを選びます



- ・レッスン2がスタートする前にソングが鳴っていると、パートを選べません。ソングが鳴っている場合は、ソングをストップさせてから手順2へすすみます。

3 レッスン2をはじめましょう

[2 タイミング]ボタンを押すと、レッスン2がスタートします。



- ・レッスン2がスタートしたあとは、ソングが鳴っていてもパートを選べます。

画面に表示された音符を弾きましょう。
リズムにあわせてタイミングよく弾きます。

ソング番号070~102はコードレッスン用のソングです。これらのソングの左手パートをレッスンするときは、自動伴奏鍵域内で弾きます。



- ・この楽器では、鍵盤を弾く強さに関係なく一定の音量が鳴ります。そのため選んだソングによっては、お手本で聞いたとおりの演奏ができないことがあります。

4 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。

スタート/ストップ



採点

レッスン2、レッスン3で、1曲レッスンが終了したとき、レッスン結果を採点します。

その結果は4段階(OK, Good, Very Good, Excellent)で表示されます。

OK
Good
Very Good!
Excellent!

レッスン3(マイペース)

正しい音を弾くレッスンをしましょう。

画面には、押さえる鍵盤位置と音符が表示されます。

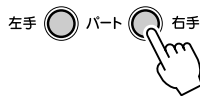
伴奏は、正しい鍵盤が押さえられるまで、すすまず待っていてくれます。

1 レッスンしたいソングを選びます



- ・レッスン3がスタートする前にソングが鳴っていると、パートを選べません。ソングが鳴っている場合は、ソングをストップさせてから手順2へすすみます。

2 レッスンしたいパートを選びます



3 レッスン3をはじめましょう

[3 マイペース]ボタンを押すと、レッスン3がスタートします。



3 WAITING



- ・レッスン3がスタートしたあとは、ソングが鳴っていてもパートが選べます。

画面に表示された音符を弾きましょう。正しい鍵盤を押さえると、次に押さえる音符と鍵盤位置が表示されます。



- ・この楽器では、鍵盤を弾く強さに関係なく一定の音量が鳴ります。そのため選んだソングによっては、お手本で聞いたとおりの演奏ができないことがあります。

4 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。

スタート/ストップ



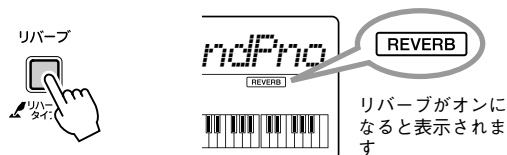
楽器音に関する設定

リバーブ(残響効果)をつける

ホールや室内で弾いたときのようなリバーブをつけて演奏できます。

リバーブのつけ方

[リバーブ] ボタンを押してリバーブをオンにします。リバーブは通常オンになっています。鍵盤を弾くとリバーブがつきます。リバーブをつけたくないときはもう一度同じボタンを押してオフにします。



リバーブタイプを選ぶ

リバーブオンのときスタイルやソングを選ぶと、いちばん合うリバーブが自動的に選ばれますが、リバーブのタイプを選ぶこともできます。

- 1 [リバーブ] ボタンを1秒以上押します。「Reverb」と表示されたあと、リバーブタイプが表示されます。



- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、リバーブタイプを選びます。

リバーブタイプは56ページのリバーブタイプリストにのっています。

リバーブレベル(リバーブをどれだけかけるか)の調節は、43ページの機能設定で行ないます。



・[機能]ボタンを何度か押してリバーブを選ぶ画面に入ることができます。

コーラスをつける

演奏音に広がりやうねりをもたせることができます。スタイルを選ぶと、楽器にいちばん合うコーラスが自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます。

- 1 画面にコーラストイプの項目「Chorus」が表示されるまで、[機能]ボタンを何度か押します。「Chorus」と数秒表示されたあと、コーラストイプが表示されます。



- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、コーラストイプを選びます。

コーラストイプは56ページのコーラストイプリストにのっています。

コーラスセンドレベル(コーラスをどれだけかけるか)の調節は、43ページの機能設定で行ないます。

パネルサステイン(余韻)をつける

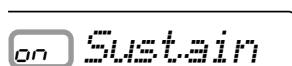
演奏音に余韻をつけられます。

- 1 画面にパネルサステインの項目「Sustain」が表示されるまで、[機能] ボタンを何度か押します。



現在の設定

- 2 [+] ボタンを押して、パネルサステインをオンにします。
パネルサステインがオンのとき鍵盤を弾くと、音に余韻が加わります。
パネルサステインをつけたくないときは[-] ボタンを押してオフにします。



オン

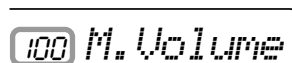


・別売りのフットスイッチを接続してサステインをつけることもできます。9ページ「フットスイッチを使う」をご参照ください。

手弾き音の音量を変える

ソングやスタイルに合わせて演奏するときの、手弾き音の音量を調節します。

- 1 画面に音色の音量項目「M.Volume」が表示されるまで、[機能] ボタンを何度か押します。



現在の手弾き音の音量

- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、音量の値を変更します。



・[+]、[-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。初期設定値は楽器音によって異なります。

音の高さを変える(トランスポーズ)

楽器全体の音の高さを半音単位で変えます。弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さに半音単位でキー(調)を合わせることができます。

- 1 画面にトランスポーズの項目「Transpos」が表示されるまで、**[機能]** ボタンを何度か押します。



現在のトランスポーズ設定値

- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、トランスポーズの値を-12～+12(単位：半音、±1オクターブ)の範囲で設定します。



- ・ドラムキット(楽器番号130～142)の音の高さは変えられません。
- ・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。

音の高さを微調整する(チューニング)

楽器全体の音の高さを微調整します。チューニングの単位は1セントです。(100セント=半音)

- 1 画面にチューニングの項目「Tuning」が表示されるまで、**[機能]** ボタンを何度か押します。



現在のチューニング設定値

- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、チューニングの値を-100～+100(単位：セント)の範囲で設定します。



- ・ドラムキット(楽器番号130～142)の音の高さは変えられません。
- ・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「000」に戻ります。

音の高さを変える(オクターブ)

鍵盤の音の高さをオクターブ単位で変えられます。

- 1 画面にオクターブ項目「M.Octave」が表示されるまで、[機能] ボタンを何度か押します。



現在のオクターブ設定値

- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、オクターブの値を変更します。



・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「0」に戻ります。

楽器音を自動的に選ぶ (ワンタッチセッティング)

スタイルやソングを鳴らしながら鍵盤を弾いて演奏する場合、最適な楽器音を自動的に選択してくれる機能がワンタッチセッティングです。楽器音に楽器番号「000」を選ぶと、スタイルやソングに最適な楽器音が自動的に選ばれます。

[楽器] ボタンを押したあとに、数字ボタン[0]や、[+]、[-]を押して、楽器番号「000」を選びます。

表示させるとワンタッチセッティングがオンになります



これでワンタッチセッティングがオンになりました。
「000」以外の楽器音を選ぶとワンタッチセッティングはオフになります。

メトロノームの拍子を設定する

1 拍目に「チーン」となり、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。

- 1 **[メトロノーム]** ボタンを1秒以上押します。画面にメトロノームの拍子が表示されます。



- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、拍子を設定します。
15拍子まで設定できます。



・メトロノームの拍子はスタイルやソングに同期するので、スタイルやソングの再生中は拍子を設定できません。

メトロノームの音量を設定する

- 1 画面にメトロノーム音量の項目「MetroVol」が表示されるまで、**[機能]** ボタンを何度か押します。



- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、メトロノームの音量を設定します。

ソングを鳴らすときの機能

テンポを変える

ソングを、速いテンポやゆっくりしたテンポで鳴らすことができます。

- 1 [テンポ/タップ]ボタンを押して、画面にテンポを表示させます。



現在のテンポの設定値

- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、テンポを設定します。



・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、そのソング本来のテンポに戻ります。

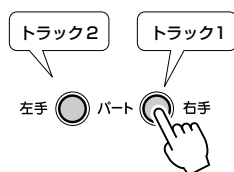
ミュート(消音)

ソングはいくつかのトラックでできています。ソングを再生中にトラック1かトラック2をミュートすることができます。

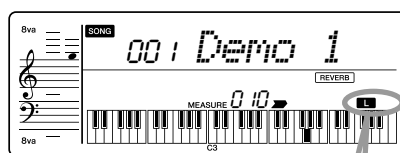
聞きたいパートのトラックだけ再生したり、弾きたいパートをミュートして、もう1つのパートを再生しながらミュートしたパートを自分で弾いて練習することができます。

- ソング再生中に[右手]ボタンを押すと、トラック1の演奏がミュートされます。
- ソング再生中に[左手]ボタンを押すと、トラック2、もしくはスタイルトラックの演奏がミュートされます。

ソング再生中にミュートしたトラックのボタンをもう一度押すか、別のソングを選ぶと、ミュートは解除されます。



ソング再生中に押したトラックがミュートされます



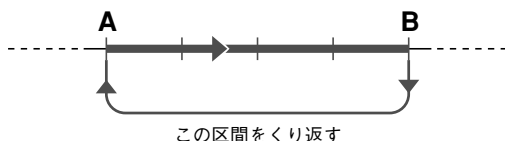
演奏データがあると点灯

ミュートするか、演奏データがないと消灯

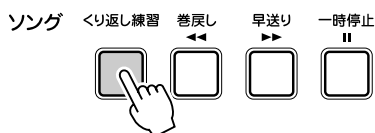
くり返し練習しよう

自分の苦手な部分をくり返し練習することができます。

レッスンしたいソングの一部分「A(リピートの始まり)」、「B(リピートの終わり)」を設定して、その間の演奏をくり返し再生させます。



ソングを再生しながら、A点にポイントで[くり返し練習]ボタンを押し、B点にしたいポイントでもう一度[くり返し練習]ボタンを押します。
A-B間がくり返し再生されます。くり返し弾きましょう。



A-b REPEAT

NOTE

- ・くり返しの設定は小節単位で行ないます。
- ・停止中でも[巻戻し]、[早送り]ボタンで小節を設定できます。
- ・開始位置「A」を曲の先頭に設定したい場合、ソングをスタートする前に[くり返し練習]ボタンを押します。

くり返しの設定を取り消すときは、[くり返し練習]ボタンを押します。画面には「OFF REPEAT」と表示されます。くり返し練習(再生)中に設定を取り消すと、そのまま通常の再生を続けます。

NOTE

- ・ソング番号を変えると、くり返し練習はキャンセルされます。
- ・スタイルに移ると、くり返し練習はキャンセルされます。

ソング音量

ソングを鳴らしながら鍵盤を弾く場合、ソングの音量を変更することで、鍵盤演奏とのバランスをとります。

- 1 [ソング]ボタンを押します。
- 2 画面にソング音量の項目「SongVol」が表示されるまで、[機能]ボタンを何度か押します。

現在のソング音量の値



- 3 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、ソング音量の値を変えます。

NOTE

- ・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

自分でカウントをとってスタート

ソングを選んだあと、4拍子のソングなら4回、3拍子なら3回、カウントをとるように[テンポ/タップ]ボタンを叩くと、そのテンポでソングがスタートします。ソング再生中は、2回叩くとテンポが変わります。



ソングのメロディー音色を変更する

ソングのメロディー音色を、好きな楽器音色に変えて鳴らすことができます。

1 好きなソングを選んで、鳴らします

16ページの「ソングを鳴らしてみよう」をご参照ください。

2 好きな楽器音を選びます

[楽器]ボタンを押し、数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、好きな楽器音を選びます。



鍵盤を弾くと選んだ楽器音が鳴るので、聞いてみましょう。

手順の途中でソングがストップした場合は、[スタート/ストップ]ボタンを押してもう一度鳴らしておきます。

3 [楽器]ボタンを1秒以上押します

「SONG MELODY VOICE」と画面に表示されたあと、ソングのメロディー音色が手順2で選んだ楽器音に変わります。



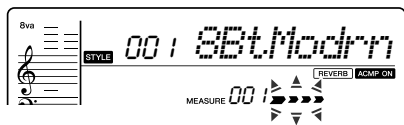
スタイル再生に関する機能

スタイルのいろいろなスタート方法

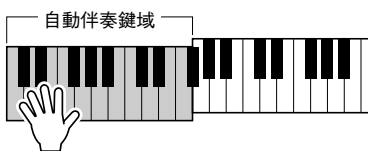
いずれの場合も、[スタイルオン/オフ]ボタンを押してスタイルをオンにしたあとに、操作します。

■コードを弾くとスタート(シンクロスタート)

自動伴奏鍵域でコードを弾くと同時にスタイルがスタートする機能です。[シンクロスタート]ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートします。



シンクロスタート待機状態



コードを弾くとスタートする。

シンクロスタート機能は、スタイルがスタートすると解除されます。



- ・スタイル演奏中もう一度[シンクロスタート]ボタンを押すと、すぐにスタイルがストップし、再びシンクロスタート待機状態になります。

■自分でカウントをとってスタート

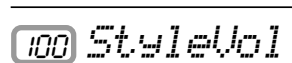
4拍子なら4回、3拍子なら3回、カウントをとるように[テンポ/タップ]ボタンを叩くと、そのテンポでスタイルのリズムだけがスタートします。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。



スタイル音量の設定

スタイルを鳴らすときの音量を設定できます。スタイルを鳴らして自分も演奏するときは、スタイル音量を設定してバランスをとります。

- 1 [スタイル]ボタンを押します。
- 2 画面にスタイル音量の項目「StyleVol」が表示されるまで、[機能]ボタンを何度か押します。



現在のスタイル音量の値

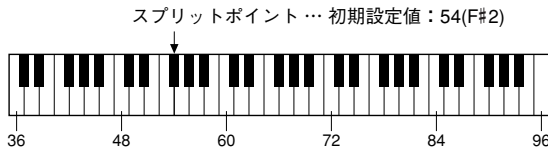
- 3 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、スタイル音量の値を変えます。



- ・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

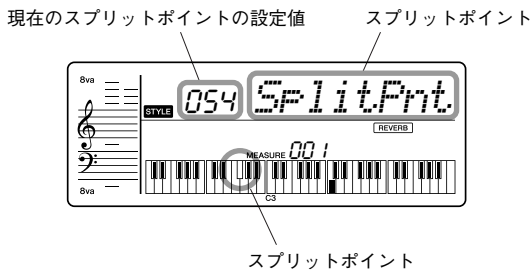
スプリットポイントの変更

スプリットポイントの位置を変更できます。



上図のとおり、初期設定は54(F#2)ですが、演奏しやすい位置に変更できます。
スプリットポイントの位置を変えると、自動伴奏鍵域の範囲が変わります。

- 1 画面にスプリットポイントの項目「SplitPnt」が表示されるまで、[機能] ボタンを何度か押します。



- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、スプリットポイントの位置を変更します。



・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「54(F#2)」に戻ります。

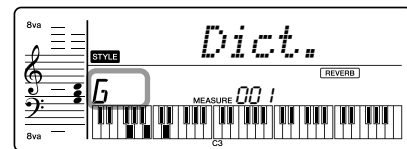
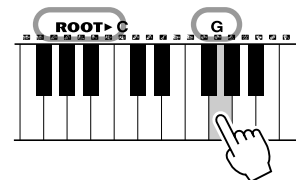
コード辞書でコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、コード辞書で調べることができます。

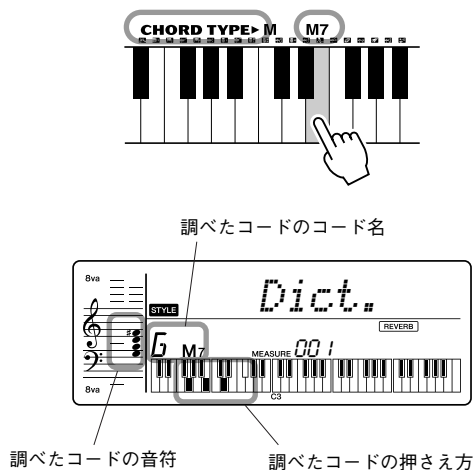
- 1 [3 マイペース] ボタンを1秒以上押します。画面に「Dict.」と表示されます。



- 2 たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の上に書かれた「ROOT▶」から「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音が画面に表示されます。



- 3** 鍵盤の上に書かれた「CHORD TYPE ▶」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押さえます(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、画面に譜面表示と鍵盤イラストで表示されます。



[+]、[-] ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

NOTE

- ・メジャーコードについて
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。
例：
Cの表記はCメジャーを意味します。
メジャーコードを調べる場合は、ルート音を押したあとに「M」を押してください。
- ・コード辞書では、6(9)、M7(9)、M7(#11)、♭5、M7♭5、M7aug、m7(11)、mM7(9)、mM7♭5、7♭5、sus2は表示されません。

- 4** 画面の表示にしたがって、自動伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が点滅します

機能設定

[機能] ボタンを使って、楽器音の調整や、外部機器と接続するときの設定などを行ないます。

項目を選んで値を変える

設定できる項目は18個あります。

1 設定したい項目の画面表示が出るまで、 [機能] ボタンを何度か押します

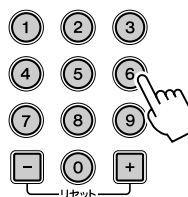
[機能] ボタンを押すたびに、18個の項目が順番に画面に表示されます。



項目の説明と画面表示は次ページの機能設定リストにあります。

2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、値を設定します

ON/OFF設定をするときは[+]、[-]ボタンを使います。



NOTE

・設定値が数字の場合は、[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

●機能設定リスト

項 目	画面表示	設定値	内 容
スタイル音量	<i>StyleVol</i>	000～127	スタイルの再生音量を設定
ソング音量	<i>SongVol</i>	000～127	ソングの再生音量を設定
トランスポーズ	<i>TransPos</i>	-12～00～12	楽器の音の高さを半音単位で設定
チューニング	<i>Tuning</i>	-100～000～100	楽器の音の高さをセント単位で設定
スプリットポイント	<i>SplitPnt</i>	000～127 (C-2～G8)	楽器のメイン音色と自動伴奏鍵域の境目を設定
メイン音色音量	<i>M.Volume</i>	000～127	メイン音色の音量を設定
メイン音色の オクターブ	<i>M.Octave</i>	-2～0～2	メイン音色の音の高さをオクターブ単位で設定
コーラスレベル	<i>M.Chorus</i>	0～127	コーラスのかかり具合を設定
リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	01～10	リバーブタイプを設定します。10はリバーブオフ。 リバーブタイプリスト参照(56ページ)
リバーブレベル	<i>RevLevel</i>	000～127	リバーブのかかり具合を設定。
コーラストाइプ	<i>Chorus</i>	1～5	コーラストाइプを設定します。5はコーラスオフ。 コーラストाइプリスト参照(56ページ)
パネルサステイン	<i>Sustain</i>	ON/OFF	メイン音色に常にサステイン(音の余韻)をかける(ON)か、 かけない(OFF)かを設定
ローカル	<i>Local</i>	ON/OFF	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か 鳴らさない(OFF)かを設定
外部クロック	<i>ExtClock</i>	ON/OFF	この楽器のクロックを外部クロックで動作させる(ON)か させない(OFF)かを設定
イニシャルセンド	<i>InitSend</i>	YES/NO	[+]ボタンを押すとこの楽器のパネル設定をコンピューターに送信
メトロノーム拍子	<i>TimeSig</i>	00～15	メトロノームの拍子を設定
メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000～127	メトロノームの音量を設定
デモキャンセル	<i>D-Cancel</i>	ON/OFF	オン(ON)にすると[デモ]ボタンを押してもソングは鳴りません。 オフ(OFF)にすると鳴ります。

MIDI機器の接続

この楽器にはMIDI端子がついています。MIDI機能の活用により音楽の幅を広げることができます。

MIDIって何？

MIDI(ミディ)とは、電子楽器間で演奏情報のやりとりをすることができる世界共通の規格です。MIDI端子のある電子楽器同士をMIDIケーブル(別売)を使ってつなげることで、楽器間のさまざまな演奏情報や設定情報などの送受信ができ、より高度な演奏が可能になります。



⚠ 注意

- 外部機器を接続する場合は、PSR-E223の電源を切った状態で接続してください。その後、最初にPSR-E223、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、最初に外部機器、次にPSR-E223の順に行ってください。

NOTE

- MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

演奏情報を送受信する

他のMIDI機器やコンピューターとPSR-E223を接続することにより、PSR-E223の演奏情報を他のMIDI機器やコンピューターで活用したり、他のMIDI機器やコンピューターから演奏情報を受信してPSR-E223で鳴らすことができます。

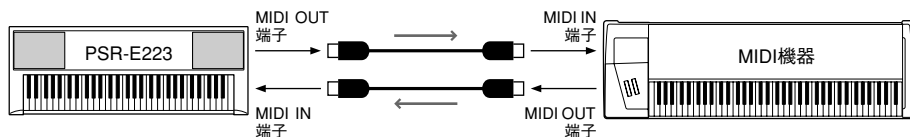
USB端子付属のコンピューターとPSR-E223を接続するには、UX16(別売)のような「USB-MIDIインターフェース」が必要です。楽器店などで買い求めください。

UX16を使用するときは、UX16に付属のドライバーをコンピューターにインストールしてください。

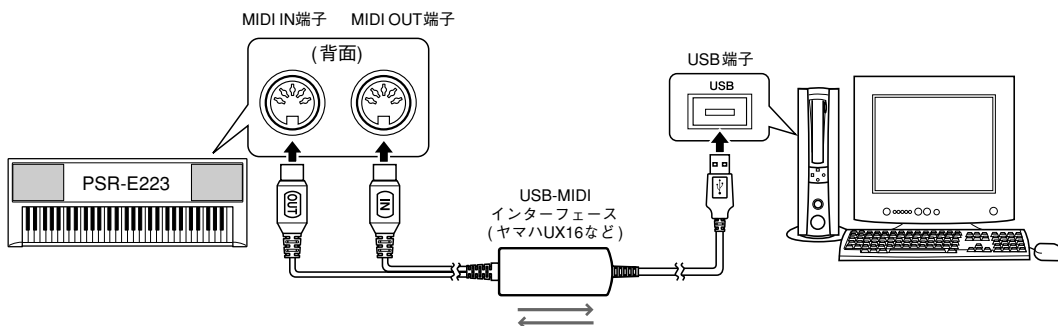
NOTE

- 内蔵ソングはソングアウトできません。

● 他のMIDI機器と接続して演奏情報を送受信します



● コンピューターと接続して演奏情報を送受信します



■ MIDI設定

PSR-E223と他のMIDI機器やコンピューターを接続して演奏情報のやりとりなどを行なうときのMIDI設定です。

ローカルを設定する

ローカルコントロールの設定を行ないます。ローカルコントロールとは、PSR-E223の演奏を、PSR-E223の内部音源で鳴らす(オン)か鳴らさない(オフ)かの設定です。

- ON(ローカルオン)
本体の演奏は通常どおりPSR-E223で発音します。また、MIDI INから受信した情報もPSR-E223で発音します。
- OFF(ローカルオフ)
本体の演奏はPSR-E223で発音しません。ただし、演奏データはMIDI OUTから送信されます。また、MIDI INから受信した情報はPSR-E223で発音します。

ローカルの設定は機能設定で行ないます(43ページ参照)。



- ・ローカルがオフに設定されていると、鍵盤を弾いても楽器から音は鳴りません。

外部クロックを設定する

この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(オフ)か、外部クロックで動作させる(オン)かの設定です。

- ON(外部クロックで動作)
接続した外部機器のクロックで動作します。
- OFF(内部クロックで動作)
この楽器の内部クロックで動作します。

外部クロックの設定は機能設定で行ないます(43ページ参照)。



- ・外部クロックをオンにすると、外部からクロック信号が入力されない限り、ソング、スタイルはスタートしません。

PSR-E223のパネル設定を送信する (イニシャルセンド)

PSR-E223のパネル設定を外部機器に送信します。

PSR-E223の演奏をシーケンサーなどに録音するとき、演奏の前にイニシャルセンドを行なうことにより、再生時に、録音したときと同じパネル設定で再生することができます。

イニシャルセンドの設定は機能設定で行ないます(43ページ参照)。

困ったときは

現 象	原因と解決方法
[電源 切/入]スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	ヘッドフォン/外部出力端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていますか？ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。 MIDIのローカルがオフ(OFF)に設定されていませんか？ローカルの設定をオン(ON)にしてください。(46ページ)
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音が途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(32音)を越えています。 スタイルやソングなどを含めて最大32音の範囲で鳴らすことができます。32音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
右手の鍵盤を弾いても、音が鳴らない。	コード辞書(41ページ)を使用していませんか？右手の鍵盤はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
鍵盤を弱く弾いても強く弾いても、音量が変わらない。	この楽器は鍵盤を弾く強さに関係なく、一定音量で鳴ります。
・音量が小さくなった。 ・音質が劣化した。 ・リズムが止まる。 ・ソングなどが、正しく演奏(再生)されない。 ・突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。	電池が消耗しています。6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
[スタート/ストップ]ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン(ON)に設定されていませんか？46ページの「外部クロックを設定する」の項を参照して、外部クロックをオフ(OFF)に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか？スタイル音量の設定を確認してください。(40ページ) コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか？「スプリットポイントの変更」(41ページ)の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP ON表示は出ていますか？表示がでない場合は、もう一度[スタイル オン/オフ] ボタンを押してACMP ONを表示させてください。
スタイルが、押さえたコードのとおりには鳴らない。	・同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、スタイルが変化しないことがあります。 ・鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。 ・オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
スタイル番号093~100(ピアニスト)を選んでいるとき、[スタート/ストップ]ボタンを押してもリズムが鳴らない。	故障ではありません。スタイル番号093~100(ピアニスト)は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。スタイルオン時に[スタート/ストップ] ボタンを押して、自動伴奏鍵域でコードを押さえると、リズム以外のパートを含んだスタイルを鳴らすことができます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう1度電源を入れ直してください。
[スタイル オン/オフ] ボタンを押してもACMP ONが表示されない。	スタイルに関する機能を使うときは、まず[スタイル]ボタンを押してください。

楽器リスト

■ 最大同時発音数について.....

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、スタイルやソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。



- ・MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- ・MIDIプログラムチェンジNo.を0～127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた値で指定します。たとえば、No.128のプログラムを指定する場合は、127の値になります。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[パネル楽器リスト]

楽器 番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
001	0	112	1	グランドピアノ 1
002	0	0	1	グランドピアノ 2
003	0	0	2	ブライトピアノ
004	0	0	4	ホンキートンク ピアノ
005	0	0	7	ハーブシコード
エレクトリックピアノ				
006	0	0	5	エレクトリック ピアノ 1
007	0	0	6	エレクトリック ピアノ 2
008	0	0	3	エレクトリックグランドピアノ
009	0	0	8	クラビ
オルガン				
010	0	0	17	ドローバー オルガン
011	0	0	18	パーカッシブ オルガン
012	0	0	19	ロック オルガン
013	0	0	20	チャーチ オルガン
014	0	0	21	リード オルガン
アコーディオン				
015	0	0	22	アコーディオンF
016	0	0	24	タンゴアコーディオン
017	0	0	23	ハーモニカ
ギター				
018	0	0	25	ナイロン弦 ギター
019	0	0	26	スチール弦 ギター
020	0	0	27	ジャズ ギター
021	0	0	28	クリーン ギター
022	0	0	29	ミュート ギター
023	0	0	30	オーバードライブ ギター
024	0	0	31	ディストーション ギター
025	0	0	32	ギター ハーモニクス
ベース				
026	0	0	33	アコースティック ベース
027	0	0	34	フィンガー ベース
028	0	0	35	ピック ベース
029	0	0	36	フレットレス ベース
030	0	0	37	スラップ ベース 1
031	0	0	38	スラップ ベース 2
032	0	0	39	シンセ ベース 1
033	0	0	40	シンセ ベース 2

楽器 番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ストリングス				
034	0	0	49	ストリングス 1
035	0	0	50	ストリングス 2
036	0	0	51	シンセ ストリングス 1
037	0	0	52	シンセ ストリングス 2
038	0	0	45	トレモロ ストリングス
039	0	0	46	ピチカート ストリングス
040	0	0	41	バイオリン
041	0	0	42	ビオラ
042	0	0	43	チェロ
043	0	0	44	コントラバス
044	0	0	47	ハープ
045	0	0	56	オーケストラ ヒット
コーラス				
046	0	0	53	クワイア アー
047	0	0	54	ボイス ウー
048	0	0	55	シンセ ボイス
サククス				
049	0	0	67	テナー サククス
050	0	0	66	アルト サククス
051	0	0	65	ソプラノ サククス
052	0	0	68	バリトン サククス
053	0	0	69	オーボエ
054	0	0	72	クラリネット
055	0	0	70	イングリッシュホルン
056	0	0	71	バスーン
トランペット				
057	0	0	57	トランペット
058	0	0	60	ミュート トランペット
059	0	0	58	トロンボーン
060	0	0	61	フレンチホルン
061	0	0	59	チューバ
プラス				
062	0	0	62	プラス セクション
063	0	0	63	シンセ プラス 1
064	0	0	64	シンセ プラス 2

楽器 番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
フルート				
065	0	0	74	フルート
066	0	0	73	ピッコロ
067	0	0	76	パンフルート
068	0	0	75	リコーダー
069	0	0	77	ボトル
070	0	0	78	尺八
071	0	0	79	口笛
072	0	0	80	オカリナ
シンセリード				
073	0	0	81	スクエア リード
074	0	0	82	ソートゥース リード
075	0	0	83	カリオベリード
076	0	0	84	チフ リード
077	0	0	85	チャラン リード
078	0	0	86	ボイス リード
079	0	0	87	5度 リード
080	0	0	88	ベース & リード
シンセパッド				
081	0	0	89	ニュー エイジ パッド
082	0	0	90	ウォーム パッド
083	0	0	91	ポリ シンセ パッド
084	0	0	92	クワイア パッド
085	0	0	93	ボウド パッド
086	0	0	94	メタリック パッド
087	0	0	95	ハロー パッド
088	0	0	96	スweep パッド
パーカッション				
089	0	0	12	ビブラフォン
090	0	0	13	マリンバ
091	0	0	14	シロフォン
092	0	0	115	スチール ドラム
093	0	0	9	チェレスタ
094	0	0	11	ミュージック ボックス
095	0	0	15	チューブラー ベル
096	0	0	48	ティンパニ
097	0	0	10	グロックンシュピール
098	0	0	113	ティンクル ベル
099	0	0	114	アゴゴ
100	0	0	116	ウッドブロック
101	0	0	117	和太鼓
102	0	0	118	メロディック タム
103	0	0	119	シンセ ドラム
104	0	0	120	リバース シンバル
シンセエフェクト				
105	0	0	97	レイン
106	0	0	98	サウンドトラック
107	0	0	99	クリスタル
108	0	0	100	アトモスフィア
109	0	0	101	ブライトネス
110	0	0	102	ゴブリン
111	0	0	103	エコー
112	0	0	104	サイエンスフィクション

楽器 番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ワールド				
113	0	0	105	シタール
114	0	0	16	ダルシマー
115	0	0	106	バンジョー
116	0	0	107	三味線
117	0	0	108	琴
118	0	0	109	カリンバ
119	0	0	110	バグパイプ
120	0	0	111	フィドル
121	0	0	112	チャナイ
サウンドエフェクト				
122	0	0	121	フレット ノイズ
123	0	0	122	プレス ノイズ
124	0	0	123	海辺
125	0	0	124	鳥のさえずり
126	0	0	125	電話
127	0	0	126	ヘリコプター
128	0	0	127	拍手
129	0	0	128	銃声
ドラムキット				
130	127	0	1	スタンダード キット
131	127	0	2	スタンダード キット 2
132	127	0	9	ルーム キット
133	127	0	17	ロック キット
134	127	0	25	エレクトロニック キット
135	127	0	26	アナログ キット
136	127	0	28	ダンス キット
137	127	0	33	ジャズ キット
138	127	0	41	ブラッシュ キット
139	127	0	49	シンフォニ-キット
140	126	0	1	SFX キット 1
141	126	0	2	SFX キット 2
142	126	0	113	サウンド エフェクト キット
XGlite				
143	0	1	1	グランドピアノ KSP
144	0	1	2	ブライトピアノ KSP
145	0	1	3	エレクトリックグランドピアノ KSP
146	0	1	4	ホンキートンク ピアノ KSP
147	0	1	5	エレクトリック ピアノ 1 KSP
148	0	1	6	エレクトリック ピアノ 2 KSP
149	0	1	7	ハーブシコード KSP
150	0	1	8	クラブ KSP
151	0	1	12	ビブラフォン KSP
152	0	1	13	マリンバ KSP
153	0	3	49	ステレオ ストリングス
154	0	3	50	ステレオ スロー ストリングス
155	0	3	53	ステレオ クワイア
156	0	6	40	メロー シンセ ベース
157	0	6	61	フレンチホルン ソロ
158	0	6	81	スクエア リード 2
159	0	6	82	ソートゥース リード 2
160	0	8	41	スロー バイオリン
161	0	8	45	スロー トレモロ ストリングス

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
162	0	8	49	スロー スtringス
163	0	8	50	レガート スtringス
164	0	8	81	LM スクエア
165	0	8	82	シック ソートゥース
166	0	12	40	シーケンスド ベース
167	0	12	99	シンセ ドラム コンブ
168	0	14	99	ポップコーン
169	0	16	88	ビッグ & ロー
170	0	18	34	フィンガー ダーク
171	0	18	40	クリック シンセ ベース
172	0	18	58	トロンボーン 2
173	0	18	64	ソフト ブラス
174	0	18	81	ハロー
175	0	18	82	ダイナミック ソートゥース
176	0	18	99	タイニー ベル
177	0	18	100	ウォーム アトモスフィア
178	0	19	40	シンセ ベース 2ダーク
179	0	19	81	シュラウド
180	0	19	82	デジタル ソートゥース
181	0	19	100	ハロー リリース
182	0	20	63	レゾナント シンセ ブラス
183	0	20	82	ビッグ リード
184	0	24	18	70's パーカッシブオルガン
185	0	27	98	ブローグ
186	0	28	35	ミュート ピック ベース
187	0	28	106	ミュート バンジョー
188	0	32	3	デチューンド CP80
189	0	32	5	コーラス エレクトリック ピアノ 1
190	0	32	6	コーラス エレクトリック ピアノ 2
191	0	32	17	デチューンド ドローバー オルガン
192	0	32	18	デチューンド パーカッシブ オルガン
193	0	32	20	チャーチ オルガン 3
194	0	32	23	ハーモニカ 2
195	0	32	27	ジャズ アンプ
196	0	32	28	コーラス ギター
197	0	32	36	フレットレス ベース 2
198	0	32	37	パンチサム ベース
199	0	32	53	メロー クワイア
200	0	32	57	ウォーム トランペット
201	0	32	61	フレンチホルン 2
202	0	32	105	デチューンド シタール
203	0	33	17	60's ドローバー オルガン 1
204	0	33	18	ライト オルガン
205	0	33	36	フレットレス ベース 3
206	0	34	17	60's ドローバー オルガン 2
207	0	34	36	フレットレス ベース 4
208	0	35	7	ハーブシコード 3
209	0	35	16	ダルシマー 2
210	0	35	17	70's ドローバー オルガン 1
211	0	35	20	チャーチ オルガン 2
212	0	35	26	12弦 ギター
213	0	35	49	60's スtringス
214	0	35	56	オーケストラ ヒット 2
215	0	35	62	トランペット & トロンボーン セクション

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
216	0	35	87	ビッグ ファイブ
217	0	35	99	ラウンド グロックンシュピール
218	0	35	105	シタール 2
219	0	37	17	60's ドローバー オルガン 3
220	0	37	18	パーカッシブ オルガン 2
221	0	37	61	ホルン オーケストラ
222	0	40	1	ピアノ スtringス
223	0	40	17	16'+2'2/3
224	0	40	20	ノートル ダム
225	0	40	21	バフ オルガン
226	0	40	26	ナイロン & スチール弦 ギター
227	0	40	29	ファンク ギター 1
228	0	40	31	フィードバック ギター
229	0	40	33	ジャズ リズム
230	0	40	34	ベース & ディストーション ギター
231	0	40	39	テクノ シンセ ベース
232	0	40	40	モジュラー シンセ ベース
233	0	40	45	ササベンス スtringス
234	0	40	47	ヤン チン
235	0	40	49	オーケストラ
236	0	40	50	ウォーム スtringス
237	0	40	53	クワイア スtringス
238	0	40	55	シンセ ボイス 2
239	0	40	66	サックス セクション
240	0	40	67	ブレスリー テナー サックス
241	0	40	99	グロックンシュピール チャイム
242	0	40	100	ナイロン エレクトリック ピアノ
243	0	41	1	ドリーム
244	0	41	6	DX+アナログ エレクトリック ピアノ
245	0	41	26	スチール弦 ギター & ボディ サウンド
246	0	41	29	ミュート スチール弦 ギター
247	0	41	31	フィードバック ギター 2
248	0	41	40	DX ベース
249	0	41	49	オーケストラ 2
250	0	41	50	キングダム
251	0	41	55	コラール
252	0	41	64	クワイア ブラス
253	0	41	99	クリア ベル
254	0	42	49	トレモロ オーケストラ
255	0	42	99	コーラス ベル
256	0	43	25	ペロシティ ギターハーモニクス
257	0	43	30	ギター ピンチ
258	0	43	34	フィンガー スラップ ベース
259	0	43	38	ペロシティ スイッチ スラップ
260	0	45	29	ジャズ マン
261	0	45	33	ペロシティ クロスフェード アッブライト ベース
262	0	45	34	フィンガー ベース 2
263	0	45	49	ペロシティ スtringス
264	0	64	11	オルゴール 2
265	0	64	13	サイン マリンバ
266	0	64	17	オルガンベース
267	0	64	19	ロータリー オルガン
268	0	64	20	オルガン フルード

楽器 番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
269	0	64	24	タンゴ アコーデオ ン 2
270	0	64	55	アナログ ボイス
271	0	64	56	インバクト
272	0	64	81	メロー
273	0	64	85	ディストーション リード
274	0	64	88	ファット & パーキー
275	0	64	89	ファンタジー
276	0	64	100	ナイロン ハープ
277	0	64	102	ゴブリ ン シンセ
278	0	64	118	メロディック タム 2
279	0	64	119	アナログ タム
280	0	65	17	70's ドローパー オルガン 2
281	0	65	19	スロー ロータリー
282	0	65	20	トレモロ オルガン フルート
283	0	65	32	ギター フィードバック
284	0	65	34	モジュレーテッド ベース
285	0	65	81	ソロ サイン
286	0	65	83	ピュア パッド
287	0	65	88	ソフト ホワール
288	0	65	97	アフリカン ウィンド
289	0	65	99	ソフト クリスタル
290	0	65	100	ハーブ ボックス
291	0	65	102	クリーパー
292	0	65	118	リアル タム
293	0	65	119	エレクトロニック パーカッション
294	0	66	17	チージー オルガン
295	0	66	19	ファスト ロータリー
296	0	66	32	ギター ハーモニクス 2
297	0	66	81	サイン リード
298	0	66	92	アイトピア
299	0	66	97	カリブ
300	0	66	100	アトモスフィア パッド
301	0	66	118	ロック タム
302	0	67	17	ドローパー オルガン 3
303	0	67	102	リチュアル
304	0	68	102	トゥー ヘブン
305	0	70	99	エア ベル
306	0	70	102	ナイト
307	0	71	99	ベル ハープ
308	0	71	102	グリスン
309	0	72	99	ガムリンバ
310	0	96	15	チャーチ ベル
311	0	96	16	ツィンパロン
312	0	96	25	ウクレレ
313	0	96	26	マンドリン
314	0	96	82	シーケンスド アナログ
315	0	96	102	ベル クワイア
316	0	96	106	ラバーブ
317	0	96	108	大正琴
318	0	96	113	ボナン
319	0	96	116	カスターネット
320	0	96	117	グラン カッサ
321	0	97	13	バリンバ
322	0	97	15	カリヨン

楽器 番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
323	0	97	16	サントウール
324	0	97	105	タンブーラ
325	0	97	106	ゴビチャント
326	0	97	108	カヌーン
327	0	97	113	アルタイル
328	0	97	115	グラス パーカッション
329	0	98	13	ログ ドラム
330	0	98	106	ウード
331	0	98	113	ガムラン
332	0	98	115	タイ ベル
333	0	99	113	ステレオ ガムラン
334	0	100	113	ラマ シンバル
335	64	0	1	カッティング ノイズ1
336	64	0	2	カッティング ノイズ2
337	64	0	4	ベース ストリングス スラップ
338	64	0	17	フルート キー クリック
339	64	0	33	雨
340	64	0	34	雷
341	64	0	35	風
342	64	0	36	せせらぎ
343	64	0	37	泡
344	64	0	38	フィード
345	64	0	49	犬
346	64	0	50	馬
347	64	0	51	鳥のさえずり 2
348	64	0	56	マオウ
349	64	0	65	フォーン コール
350	64	0	66	ドアのきしみ
351	64	0	67	ドアを開める
352	64	0	68	スクラッチ カット
353	64	0	69	スクラッチ スプリット
354	64	0	70	ウィンド チャイム
355	64	0	71	電話 2
356	64	0	81	イグニッション
357	64	0	82	タイヤ
358	64	0	83	レーシング カー
359	64	0	84	衝突
360	64	0	85	サイレン
361	64	0	86	列車
362	64	0	87	ジェット機
363	64	0	88	スターシップ
364	64	0	89	バースト
365	64	0	90	ローラー コースター
366	64	0	91	サブマリン
367	64	0	97	笑い声
368	64	0	98	悲鳴
369	64	0	99	パンチ
370	64	0	100	心音
371	64	0	101	足音
372	64	0	113	マシン ガン
373	64	0	114	レーザー ガン
374	64	0	115	爆発
375	64	0	116	花火

ドラムキットリスト

※ “ ” は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

※ 各パーカッション音の使用発音数は1です。

※ この楽器の鍵盤(Keyboard)のNote No. とNoteは、MIDIのNote No. とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックH (Note No.36/Note C1)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.24/Note C0をこの楽器に送信します。

※ 「Alternate Group」欄のオルタネート番号1〜4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

※ 「Key Off」の欄に○印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります(キーオフされます)。

		楽器番号					130	131	132	133	134	135
		MSB (0-127)/LSB (0-127)/PC (1-128)					127/0/1	127/0/2	127/0/9	127/0/17	127/0/25	127/0/26
		Keyboard MIDI					スタンダードキット1	スタンダードキット2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット	アナログキット
		Note No.	Note	Note No.	Note	Key Off	Alternate Group					
C1	C#1	25	C# 0	13	C# -1		3	スルドミュー				
		26	D 0	14	D -1		3	スルドオープン				
D1	D#1	27	D# 0	15	D# -1			ハイキュー				
		28	E 0	16	E -1			ウィップスラップ				
E1		29	F 0	17	F -1		4	スクラッチブッシュ				
		30	F# 0	18	F# -1		4	スクラッチブル				
F1	F#1	31	G 0	19	G -1			フィンガーشناップ				
		32	G# 0	20	G# -1			クリックノイズ				
G1	G#1	33	A 0	21	A -1			メトロノームクリック				
		34	A# 0	22	A# -1			メトロノームベル				
A1	A#1	35	B 0	23	B -1			シーククリックL				
		36	C 1	24	C 0			シーククリックH				
C2	C#2	37	C# 1	25	C# 0			ブラッシュタップ				
		38	D 1	26	D 0	O		ブラッシュスワール				
D2	D#2	39	D# 1	27	D# 0			ブラッシュスラップ				
		40	E 1	28	E 0	O		ブラッシュタップスワール			リバースシンバル	リバースシンバル
E2	E#2	41	F 1	29	F 0	O		スネアロール				
		42	F# 1	30	F# 0			カスタネット			ハイキュー2	ハイキュー2
F2	F#2	43	G 1	31	G 0			スネアHソフト	スネアHソフト2	スネアロックH	スネアL	スネアロックH
		44	G# 1	32	G# 0			スティックス				
G2	G#2	45	A 1	33	A 0			バスドラムソフト			バスドラムH	バスドラムH
		46	A# 1	34	A# 0			オープンリムショット	オープンリムショット2			
A2	A#2	47	B 1	35	B 0			バスドラムハード		バスドラムH	バスドラムロック	バスドラムアナログL
		48	C 2	36	C 1			バスドラム	バスドラム2	バスドラムロック	バスドラムゲート	バスドラムアナログH
C3	C#3	49	C# 2	37	C# 1			サイドスティック				アナログサイドスティック
		50	D 2	38	D 1			スネアM	スネアM2	スネアールム	スネアロックL	スネアロックL
D3	D#3	51	D# 2	39	D# 1			ハンドクラップ				アナログスネア2
		52	E 2	40	E 1			スネアHハード	スネアHハード2	スネアールムH	スネアロックリム	スネアロックH
E3	E#3	53	F 2	41	F 1			フロアタムL		ルームタム1	ロックタム1	エレクトロニックタム1
		54	F# 2	42	F# 1		1	ハイハットクローズ				アナログハイハットクローズ1
F3	F#3	55	G 2	43	G 1			フロアタムH		ルームタム2	ロックタム2	エレクトロニックタム2
		56	G# 2	44	G# 1		1	ハイハットペダル				アナログハイハットクローズ2
G3	G#3	57	A 2	45	A 1			ロータム		ルームタム3	ロックタム3	エレクトロニックタム3
		58	A# 2	46	A# 1		1	ハイハットオープン				アナログハイハットオープン
A3	A#3	59	B 2	47	B 1			ミッドタムL		ルームタム4	ロックタム4	エレクトロニックタム4
		60	C 3	48	C 2			ミッドタムH		ルームタム5	ロックタム5	エレクトロニックタム5
C4	C#4	61	C# 3	49	C# 2			クラッシュシンバル1		ルームタム6	ロックタム6	エレクトロニックタム6
		62	D 3	50	D 2			ハイタム				アナログシンバル
D4	D#4	63	D# 3	51	D# 2			ライドシンバル1				アナログタム6
		64	E 3	52	E 2			チャイニーズシンバル				
E4	E#4	65	F 3	53	F 2			ライドシンバルカップ				
		66	F# 3	54	F# 2			タンバリン				
F4	F#4	67	G 3	55	G 2			スブラッシュシンバル				
		68	G# 3	56	G# 2			カウベル				アナログカウベル
G4	G#4	69	A 3	57	A 2			クラッシュシンバル2				
		70	A# 3	58	A# 2			ビブラスラップ				
A4	A#4	71	B 3	59	B 2			ライドシンバル2				
		72	C 4	60	C 3			ボンゴH				
C5	C#5	73	C# 4	61	C# 3			ボンゴL				
		74	D 4	62	D 3			コンガHミュー				アナログコンガH
D5	D#5	75	D# 4	63	D# 3			コンガHオープン				アナログコンガM
		76	E 4	64	E 3			コンガL				アナログコンガL
E5	E#5	77	F 4	65	F 3			ティンバレスH				
		78	F# 4	66	F# 3			ティンバレスL				
F5	F#5	79	G 4	67	G 3			アゴゴH				
		80	G# 4	68	G# 3			アゴゴL				
G5	G#5	81	A 4	69	A 3			カバサ				
		82	A# 4	70	A# 3			マラカス				アナログマラカス
A5	A#5	83	B 4	71	B 3	O		サンバホイッスルH				
		84	C 5	72	C 4	O		サンバホイッスルL				
C6	C#6	85	C# 5	73	C# 4			ギロシット				
		86	D 5	74	D 4	O		ギロシット				
D6	D#6	87	D# 5	75	D# 4			ギロシット				
		88	E 5	76	E 4			ウッドブロックH				アナログクラベス
E6	E#6	89	F 5	77	F 4			ウッドブロックL				
		90	F# 5	78	F# 4			クワイカミュート				
F6	F#6	91	G 5	79	G 4			クワイカオープン			スクラッチブッシュ	スクラッチブッシュ
		92	G# 5	80	G# 4		2	トライアングルミュート			スクラッチブル	スクラッチブル
G6	G#6	93	A 5	81	A 4		2	トライアングルオープン				
		94	A# 5	82	A# 4			シェイカー				
A6	A#6	95	B 5	83	B 4			ジングルベル				
		96	C 6	84	C 5			ベルツリー				
C7	C#7	97	C# 6	85	C# 5							
		98	D 6	86	D 5							
D7	D#7	99	D# 6	87	D# 5							
		100	E 6	88	E 5							
E7	E#7	101	F 6	89	F 5							
		102	F# 6	90	F# 5							
F7	F#7	103	G 6	91	G 5							

スタイルリスト

スタイル番号	スタイル名
8ビート	
001	8ビートモダン
002	60'sギターポップ
003	8ビートアドリア
004	60's 8ビート
005	8ビート
006	オフビート
007	60's ロック
008	ハードロック
009	ロックシャッフル
010	8ビートロック
16ビート	
011	16ビート
012	ポップシャッフル
013	ギターポップ
014	16ビートアップテンポ
015	クールシャッフル
016	ヒップホップライト
バラード	
017	ピアノバラード
018	ラブソング
019	6/8 モダンエレピ
020	6/8 スローロック
021	オルガンバラード
022	ポップバラード
023	16ビートバラード
ダンス	
024	ユーロトランス
025	イビサ
026	スイングハウス
027	クラブダンス
028	クラブラテン
029	ガラージ 1
030	ガラージ 2
031	テクノパーティー
032	UK ポップ
033	ヒップホップグループ
034	ヒップシャッフル
035	ヒップホップポップ
ディスコ	
036	70's ディスコ
037	ラテンディスコ
038	サタデーナイト
039	ディスコハンズ

スタイル番号	スタイル名
スイング&ジャズ	
040	ビッグバンドファスト
041	ビッグバンドバラード
042	ジャズクラブ
043	スイング 1
044	スイング 2
045	5ビート
046	ディキシーランド
047	ラグタイム
リズム&ブルース	
048	ソウル
049	デトロイトポップ
050	6/8 ソウル
051	クロコツイスト
052	ロックンロール
053	コンボブギー
054	6/8 ブルース
カントリー	
055	カントリーポップ
056	カントリースイング
057	カントリー 2/4
058	ブルーグラス
ラテン	
059	ブラジリアンサンバ
060	ボサノバ
061	フォホ
062	ティファナ
063	マンボ
064	サルサ
065	ビギン
066	レゲエ
ボールルーム	
067	ウィンナーワルツ
068	イングリッシュワルツ
069	スローフォックス
070	フォックストロット
071	クイックステップ
072	タンゴ
073	バソドブレ
074	サンバ
075	チャチャチャ
076	ルンバ
077	ジャイブ

スタイル番号	スタイル名
トラッド&ワールド	
078	US マーチ
079	6/8 マーチ
080	ジャーマンマーチ
081	ボルカポップ
082	ボルカオーバークライナー
083	タランテラ
084	ショーチューン
085	クリスマススイング
086	クリスマスワルツ
087	スコティッシュリール
ワルツ	
088	スイングワルツ
089	ジャズワルツ
090	カントリーワルツ
091	ワルツオーバークライナー
092	ミュゼット
ピアニスト	
093	ストライド
094	ピアノスイング
095	アルベジオ
096	ハバネラ
097	スローロック
098	8ビートピアノバラード
099	6/8 ピアノマーチ
100	ピアノワルツ

ソングリスト

ソング 番号	ソング名
おすすめ	
001	Demo 1
002	Winter Serenade (ウィンターセレナーデ)
003	Castaway (キャスタウェイ)
オーケストラ	
004	葦笛の踊り (くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
005	「天国と地獄」序曲 (J. Offenbach)
006	スラヴ舞曲 第 10 番 (A. Dvořák)
007	四季より「春」(A. Vivaldi)
008	タイスの瞑想曲 (J. Massenet)
009	ウィリアム・テル序曲 (G. Rossini)
010	春の歌 (F. Mendelssohn)
011	ハンガリー舞曲 第 5 番 (J. Brahms)
ピアニスト	
012	お人形の夢と目覚め (T. Oesten)
013	ブルグミュラー：25の練習曲から 1 番 すなおな心 (J. F. Burgmüller)
014	2 番 アラベスク (J. F. Burgmüller)
015	3 番 牧歌 (J. F. Burgmüller)
016	4 番 こどもの集会 (J. F. Burgmüller)
017	5 番 無邪気 (J. F. Burgmüller)
018	6 番 進歩 (J. F. Burgmüller)
019	20 番 タランテラ (J. F. Burgmüller)
020	25 番 貴婦人の乗馬 (J. F. Burgmüller)
021	別れの曲 (F. Chopin)
022	ベートーベン のトルコ行進曲 (L.v. Beethoven)
023	モーツァルト のトルコ行進曲 (W.A. Mozart)
024	小犬のワルツ (F. Chopin)
025	ボッケリーニのメヌエット (L. Boccherini)
026	夜想曲 第 2 番 (F. Chopin)
027	楽興の時 第 3 番 (F. Schubert)
028	エンターテイナー (S. Joplin)
029	平均律第 1 巻 第 1 番 プレリユード (J.S. Bach)
030	すみれ (Streabbog)
031	エリーゼのために (L.v. Beethoven)
練習曲	
032	アメリカ・ザ・ビューティフル (S.A. Ward)
033	ロンドンデリーの歌 (Traditional)
034	バンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)
035	小鳥ならば (Traditional)
036	ローレライ (F. Silcher)
037	フニクリ・フニクラ (L. Denza)
038	わらの中の七面鳥 (Traditional)
039	故郷の人々 (S.C. Foster)
040	ジングル・ベル (J.S. Pierpont)
041	別れ (F. Silcher)
042	愛の夢 第 3 番 (F. Liszt)
043	主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)
044	歓喜の歌 (L.v. Beethoven)
045	真珠採りの歌 (G. Bizet)
046	ゴセックのガボット (F.J. Gossec)
047	ハイドンのセレナーデ (F.J. Haydn)
048	バッハのメヌエット (J.S. Bach)
049	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)
050	歌劇「魔笛」より (W.A. Mozart)

ソング 番号	ソング名
051	月光の曲 (L.v. Beethoven)
052	びっくりシンフォニー (F.J. Haydn)
053	野ばらに寄す (E.A. MacDowell)
054	闘牛士の歌 (G. Bizet)
055	私のお父さん (G. Puccini)
デュエット	
056	こげこげボート (Traditional)
057	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー (Traditional)
058	おめでとうクリスマス (Traditional)
059	スカボロ・フェア (Traditional)
060	ちょうちょ (Traditional)
061	もみの木 (Traditional)
062	メリーさんのひつじ (Traditional)
063	10 人のインディアン (Septimus Winner)
064	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (Traditional)
065	きらきら星 (Traditional)
066	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)
067	かっこう (Traditional)
068	かわいいオーガスティン (Traditional)
069	ロンドン橋 (Traditional)
コードレッシン	
070	ビル・ベイリ (帰っておいでよ) (H. Cannon)
071	アイルランド人のほほ笑みは (E.R. Ball)
072	ダウン・バイ・ザ・リバーサイド (Traditional)
073	聖者の行進 (Traditional)
074	円舞曲「春の声」(J. Strauss II)
075	草競馬 (S.C. Foster)
076	茶色の小瓶 (Joseph Winner)
077	ロッホ・ローモンド (Traditional)
078	おお、スザンナ (S.C. Foster)
079	グリーンスリープス (Traditional)
080	オーラ・リー (G. Poulton)
081	きよしこの夜 (F. Gruber)
082	ドナウ川のさざ波 (I. Ivanovici)
083	きらきら星 (Traditional)
084	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)
085	かっこう (Traditional)
086	かわいいオーガスティン (Traditional)
087	ロンドン橋 (Traditional)
088	アメリカンバトロール (F.W. Meacham)
089	夢見る君 (S.C. Foster)
090	リバブリック讃歌 (Traditional)
091	埴生の宿 (H. Bishop)
092	花のワルツ (くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
093	アロハ・オエ (Traditional)
094	線路は続くよどこまでも (Traditional)
095	愛しのクレメンタイン (Traditional)
096	蛍の光 (Traditional)
097	大きな古時計 (H.C. Work)
098	アメージング・グレース (Traditional)
099	マイ・ボニー (H.J. Fulmer)
100	アルプス一万尺 (Traditional)
101	もろびとこざりて (G.F. Händel)
102	シュベルトのアベマリア (F. Schubert)

- ・内蔵ソングのうち、一部のソングは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。
- ・これら内蔵ソングの譜面がソングブックに入っています。ただし3曲(ソング番号001～003)は除きます。

エフェクトタイプリスト

[リバーブタイプリスト]

No.	タイプ	解 説
01	Hall 1 (ホール1)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
02	Hall 2 (ホール2)	
03	Hall 3 (ホール3)	
04	Room 1 (ルーム1)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
05	Room 2 (ルーム2)	
06	Stage 1 (ステージ1)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07	Stage 2 (ステージ2)	
08	Plate 1 (プレート1)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09	Plate 2 (プレート2)	
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

[コーラスタイプリスト]

No.	タイプ	解 説
01	Chorus1 (コーラス1)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
02	Chorus2 (コーラス2)	
03	Flanger1 (フランジャー 1)	音にうねりを与え、回転しているような効果を演出します。
04	Flanger2 (フランジャー 2)	
05	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません

仕様一覧

鍵盤

- ・ PSR-E223 レギュラーサイズ61鍵 (C1～C6)

画面

- ・ 液晶画面

セットアップ

- ・ [電源 切/入]スイッチ
- ・ [全体音量]：小～大

パネルコントロール

- ・ [左手]、[右手]、[1 お手本]、[2 タイミング]、[3 マイペース]、[くり返し練習]/[スタイル オン/オフ]、[巻戻し]/[イントロ/エンディング/rit.]、[早送り]/[メイン/フィルイン]、[テンポ/タップ]、[一時停止]/[シンクロスタート]、[スタート/ストップ]、[ソング]、[スタイル]、[楽器]、[機能]、[グランドピアノ]、[効果音]、[リバーブ]、[デモ]、[メトロノーム]、数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]

楽器

- ・ ステレオグランドピアノ+361XGlite+ 13ドラムキット (最大同時発音数32)

スタイル

- ・ 100プリセット
- ・ スタイルコントロール：
スタイルオン/オフ、シンクロスタート、スタート/ストップ、
イントロ/エンディング/リタルダンド、メイン/フィルイン
- ・ マルチフィンガリング
- ・ スタイル音量

レッスン機能

- ・ コード辞書
- ・ レッスン1～3

機能設定

- ・ スタイル音量、ソング音量、トランスポーズ、チューニング、
スプリットポイント、メイン音色(音量、オクターブ)、
リバーブタイプ、リバーブレベル、パネルサステイン、
ローカル、外部クロック、イニシャルセンド、
メトロノーム(拍子、音量)、デモキャンセル

エフェクト

- ・ リバーブ : 9種類
- ・ コーラス : 4種類

ソング

- ・ プリセットソング102曲
- ・ ソング音量

MIDI

- ・ ローカル、外部クロック、イニシャルセンド

付属端子

- ・ MIDI、サステイン、ヘッドフォン/外部出力、電源アダプター

アンプ実用最大出力

- ・ 2.5W+2.5W

スピーカー

- ・ 12cm×2

電源

- ・ アダプター : PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品
- ・ 電池 : 単3 乾電池(1.5V)×6

電池寿命

- ・ アルカリ電池で約12時間

消費電力

- ・ 電源アダプターPA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品 使用時 : 12W

寸法(幅×奥×高mm)

- ・ 945×348×118

質量

- ・ 4.5 kg(乾電池含まず)

付属品

- ・ 取扱説明書(本書)、電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、ソングブック、保証書、譜面立て、ユーザー登録のご案内

オプション(別売)品

- ソフトケース(SCC-51/SCC-52)、キーボードスタンド (L-2L/L-2C)、ヘッドフォン(HPE-150/HPE-30)、
フットスイッチ(FC4/FC5)、USB-MIDIインターフェース (UX16)

※ 仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

索引

＋、－、0～926

M

MIDI45

MIDI IN/OUT45

I

一時停止17

イニシャルセンド44、46

イントロ23

E

ABリピート38

エンディング23

O

オクターブ(メイン)35

お手本28

オプション57

音色12

音符表示27

音量(スタイル)40

音量(全体)9

音量(ソング)38

音量(ボイス)33

K

外部クロック44、46

楽器音12、32

楽器リスト48

画面表示27

乾電池8

K

機能43

機能設定リスト44

K

グランドピアノ13

くり返し練習38

K

鍵盤表示27

K

効果音15

コード(和音)24～25

コード辞書41

コード表示27

コーラス32

コーラスタイプリスト56

コーラスレベル44

コンピューター45

S

採点30

サステイン(パネル)33

サステイン(フットスイッチ)9

S

自動伴奏鍵域18、20

小節表示27

シンクロスタート19、40

S

数字ボタン26

スタート/ストップ17

スタイル18、40

スタイル オン/オフ20

スタイル音量40

スタイルリスト54

スプリットポイント41

S

全体音量9

S

ソング16、37

ソング音量38

ソングリスト55

T

タイミング30

T

チューニング34

T

デモ17

電源アダプター8

電源 切/入9

テンポ22、37

テンポ/タップ22、37、39～40

T

トラック27、37

ドラムキット15

ドラムキットリスト52

トランスポーズ34

N

長く押す表示26

H

パート29

早送り17

伴奏(スタイル)18、40

H

ビート表示27

左手29

拍子36

F

付属品5、57

フットスイッチ9

譜面立て9

H

ヘッドフォン/外部出力9、57

M

マイペース31

巻戻し17

M

右手29

ミュート(消音)37

M

メイン/フィルイン23

メトロノーム36

メトロノーム音量36

メロディー音色39

R

リズム18、20

リタルダンド23

リバーブ32

リバーブタイプリスト56

リバーブレベル44

R

ルート24～25、41

R

レッスン28～31

R

ローカル44、46

W

ワンタッチセッティング35

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から1年間で。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

右に記載の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

●補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持ち込み窓口)

◆修理のご依頼/修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

- 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00(祝祭日および弊社休業日を除く)
- ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-012-808**
※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)
- FAX (053) 463-1127

◆修理品お持ち込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (浜松サービスステーションは 8:45～17:30) (祝祭日および弊社休業日を除く)

*お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	FAX (011) 512-6109
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	FAX (03) 5762-2125
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	FAX (053) 462-9244
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	FAX (052) 652-0043
大阪サービスセンター	〒564-0052	吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F	FAX (06) 6330-5535
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4	FAX (092) 472-2137

■ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1 TEL. 053-460-5272

- 受付日 月曜日～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
- 受付時間 10:00～18:00(土曜日は17:00まで)
- <http://www.yamaha.co.jp/support/>

国内営業本部

ピアノ企画部 企画グループ 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL (03) 5488-6795

PA・DMI事業部

EKBマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

●インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

ヤマハ株式会社のホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/>

電子ピアノ/キーボードのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>